

ガイディングのための

英語による

コミュニケーション

実践ガイド

(基礎編)



## はじめに

英語文化圏のクライアントはアクティビティの経験・知識が豊富な方が多く、ガイドする上でコミュニケーション能力がより重要となります。コミュニケーションは事前の段取り、対象者理解、インタープリテーション、クライアントケア、インストラクション、コーチング、リーダーシップ、リスクマネジメント、緊急時対応など、英語ガイドの全ての場面で必須となるスキルであり、円滑なコミュニケーションなしにはガイディングは成り立ちません。コミュニケーションのポイントは、日常的な何気ない会話からクライアントの趣向・性格・ニーズや悩み事などを拾っていくことであり、この積み重ねがクライアントからガイドへの信頼の基盤となります。

注意喚起や緊急時のリーダーシップでは、クライアントには Non-native English speaker も多くいることを忘れないようにしましょう。明確かつシンプルで適切な表現を心がけてください。それには、英語文化圏では有名なコミュニケーションにおける「3Cs」を活用するとよいでしょう。クライアントがガイドの言葉の行間を読むなどの勝手な解釈が生じないように明確にしましょう (Clear)。5秒で終わる説明をだらだらと長く続けていては、クライアントには重要なポイントが伝わりません。簡潔 (シンプル) に話しましょう (Concise)。主語を明確にし、5W1H を心がけ完全な文章で発信しましょう (Complete)。

またコミュニケーションにおいて「伝えたい気持ち」は確かに重要ですが、ガイドは趣味の国際交流ではなく、安全管理を含めて職業としての意思疎通が必要であることから、「気持ちだけあればOK」と言う甘い考えを捨てましょう。しかし「伝えたい気持ち」が無ければコミュニケーションは成り立たないことも忘れずにおきましょう。

### ～海外顧客受け入れに向けて～

クライアントが国籍を海外に有する外国人であったとしても、クライアントは国内法である旅行業法や消費者契約法などにより保護されます。

つまり、ガイドの責任範囲は日本人顧客をガイドするときと比べて何ら変わりはないのです。

そのためインバウンドガイドには民事・刑事・行政上の責任があり、また個人情報の取扱やセーフティトークなどにも最善の注意を払う責務があります。英語が不得意だから上手に説明できず事故が起こった、というシチュエーションはそもそも生じてはいけません。

クライアントに対するガイドの責務を全うするためには、ガイド自身が関連法をしっかりと理解すること、そして顧客に正しい情報を事前に周知し、理解してもらうことが求められます。



#### ■編集・監修代表プロフィール

一般社団法人ウィルダネスメディカルアソシエイツジャパン

代表理事 横堀 勇

2005年 カナダ公立Carleton University (環境学専攻) 卒業

2006年 Yamnuska Mountain Skills Semester (ロッキー山脈での山岳技術トレーニング) 卒業

2008年～2013年 YM Toursにてカナディアンロッキー及びユーコン準州にて登山ガイド

※YMガイド条件: <https://ymtours.com/jp/job-offer/to-be-guide.html>

(Association of Canadian Mountain GuideのApprentice Hiking Guide資格取得など含む)

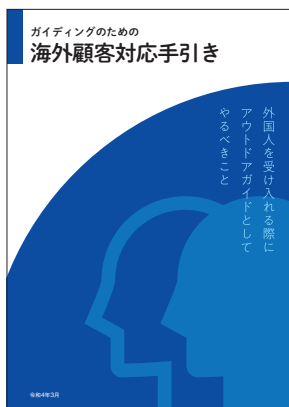
2011年～現在 WMA Internationalインストラクター。2013年に日本法人であるWMA Japanを立ち上げ。

2015年 全国通訳案内士登録

カナダでのガイディング、国内での英語登山ガイディングやWMAの活動を通じガイディングにおける欧米スタンダードに触れる。

# CONTENTS

|   |   |
|---|---|
| 1 申込時（受付時）ケーススタディ：<br>Acknowledgement for Risks form …… 4 | 10 インタープリテーションの引き出し …… 13<br>◆General vs Specific …… 13 |
| 2 アクティビティのレベル表示 …… 6                                      | 11 クライアントケア …… 14                                       |
| 3 ガイドとしての自己紹介 …… 7  | 12 クライアントケアの3つのブロック：<br>「安全性」・「快適性」・「満足度」 …… 14         |
| 4 ブリーフィング …… 7  | ① 「安全性」 …… 15   |
| 5 ガイド中の日常会話：<br>Active Listening …… 8                     | ② 「快適性」 …… 15   |
| ◆相手の話を聞いて理解していることを、<br>さりげなく表現するフレーズ …… 8                 | ③ 「満足度」 …… 15   |
| ◆相手の言葉を自分が正しく理解<br>しているかどうかの確認方法 …… 8                     | 13 注意喚起に関して …… 16                                       |
| ◆何を話す？ …… 8   | 14 ホスピタリティとは？ …… 17                                     |
| キッカケ …… 8   | ◆文化によるホスピタリティの差 …… 17                                   |
| 話す内容 …… 8   | ◆クライアントの意向を叶える≒ホスピタリティ …… 17                            |
| 6 インタープリテーションとは …… 9                                      | 15 クレーム対応<br>（英語文化圏での一般的な対応方法） …… 17                    |
| ◆カナダの登山ガイド資格講習内での定義 …… 9                                  | ◆LAUGHメソッド …… 17  |
| ◆つまりインタープリテーションは …… 9                                     | 16 リーダーのクオリティ …… 18                                     |
| ◆YouTubeから学ぶ …… 10  | ◆キーワード …… 18  |
| 7 インタープリテーションに<br>必要とされる英語力 …… 10                         | 17 リーダーシップの種類 …… 19                                     |
| ◆参考書例 …… 10   | 18 インストラクション …… 20                                      |
| 8 Natural History / 英単語表の作成 …… 10                         | 19 コーチング …… 21  |
| ●伝わらない英語表現例①：学名 …… 10                                     | 20 翻訳機「Voice Tra」は有効？ …… 22                             |
| ●伝わらない英語表現例②：単位 …… 11                                     | 参考：ガイディングに役立つ英単語 …… 23                                  |
| 9 英語インタープリテーション作成<br>6つのステップ …… 13                        |   |
| ①テーマとメッセージ …… 13  |   |
| ②共通認識の範囲 …… 13  |   |
| ③題材の発見 …… 13  |   |
| ④リサーチ …… 13   |   |
| ⑤メッセージとともに織りあげる …… 13                                     |   |
| ⑥インタープリテーションを描く手法を決める …… 13                               |   |



【アクティビティ別】テキストは活動領域で選択してください。



本テキストは、上記テキストと一緒に活用いただくことをお勧めします。

## 1 申込時(受付時) ケーススタディ : Acknowledgement for Risks form

ツアー申込時のコミュニケーション(メールや電話)では、アクティビティが内包するリスクをクライアントに確実に理解してもらう必要があります。免責同意書は Liability Waiver と訳されます。Liability は責務、Waive は請求権を自らの意志で放棄することを意味します。つまりガイドに過失があっても訴える権利を放棄するとさせるものであるため、日本国内法ではこのような免責同意書は違法性があります。そのため代わりにして危険同意書 = Acknowledgement of Risk Form を用いることが推奨されます。書き方や含むべき項目は、弁

### VISITOR'S ACKNOWLEDGEMENT OF RISKS

In consideration of the services of \_\_\_\_\_ their officers, agents, employees, and stockholders, and all other persons or entities associated with those businesses (hereinafter collectively referred to as "\_\_\_\_\_") I agree as follows:

Although \_\_\_\_\_ has taken reasonable steps to provide me with appropriate equipment and skilled guides so I can enjoy an activity for which I may not be skilled, \_\_\_\_\_ has informed me this activity is not without risk. Certain risks are inherent in each activity and cannot be eliminated without destroying the unique character of the activity. These inherent risks are some of the same elements that contribute to the unique character of this activity and can be the cause of loss or damage to my equipment, or accidental injury, illness, or in extreme cases, permanent trauma or death. \_\_\_\_\_ does not want to frighten me or reduce my enthusiasm for this activity, but believes it is important for me to know in advance what to expect and to be informed of the inherent risks. The following describes some, but not all, of those risks.

[description of risks]

I am aware that \_\_\_\_\_ entails risks of injury or death to any participant. I understand the description of these inherent risks is not complete and that other unknown or unanticipated inherent risks may result in injury or death. I agree to assume and accept full responsibility for the inherent risks identified herein and those inherent risks not specifically identified. My participation in this activity is purely voluntary, no one is forcing me to participate, and I elect to participate in spite of and with full knowledge of the inherent risks.

I acknowledge that engaging in this activity may require a degree of skill and knowledge different than other activities and that I have responsibilities as a participant. I acknowledge that the staff of \_\_\_\_\_ has been available to more fully explain to me the nature and physical demands of this activity and the inherent risks, hazards, and dangers associated with this activity.

I certify that I am fully capable of participating in this activity. Therefore, I assume and accept full responsibility for myself, including all minor children in my care, custody, and control, for bodily injury, death or loss of personal property and expenses as a result of those inherent risks and dangers identified herein and those inherent risks and dangers not specifically identified, and as a result of my negligence in participating in this activity.

I have carefully read, clearly understood and accepted the terms and conditions stated herein and acknowledge that this agreement shall be effective and binding upon myself, my heirs, assigns, personal representative and estate and for all members of my family, including minor children.

\_\_\_\_\_  
Signature

\_\_\_\_\_  
Date

Signature of Parent of Guardian, if participant is under 18 years of age

\_\_\_\_\_  
Signature

\_\_\_\_\_  
Date

護士を介さず作成する方法もいくつかあります。ここではアメリカ国立公園で採用されている方法を紹介します。

以下に掲載したものはアメリカ国立公園で用いられている危険同意書のひな形です。アメリカの国立公園内で活動するガイドは、国立公園管理局の作る危険同意書のひな形を参考に作成することを求められています。その同意書は作成後に国立公園管理局からの許可を得てからでないと使用できません。

ガイド業種によりアクティビティは異なるので、該当アクティビティに伴う個別のリスクは「description of risks」へ書き込む構造になっています。（\_\_\_\_\_にはガイド会社名などを入れます。）

## 左ページ和訳

### 危険同意書

\_\_\_\_\_, 職員、代理人、従業員、利害関係者、およびそれらの事業に関連するその他すべての個人または団体（以下、総称して「\_\_\_\_\_」といいます）の提供するサービスを考慮して、私は次のことに同意します；

私が不慣れであろう活動を楽しめるように、\_\_\_\_\_は、適切な資機材および熟練したガイディング提供のための合理的な措置を講じました。また \_\_\_\_\_はこの活動にリスクを伴うことを通知しました。

各アクティビティは特定のリスクを内包し、それらのリスクはアクティビティの個性を損なうことなしには排除することはできません。

これらの特有のリスクは、このアクティビティの個性に寄与する要素でもあり、私個人の資機材の紛失や損傷、偶発的な怪我、病気、または極端な場合には永続的な外傷や死亡の原因となる可能性があります。

\_\_\_\_\_は、私を怖がらせたり、この活動への熱意を損なうことを望んではいません。何を予期すべきか、そして特有のリスクとは何なのか、それを事前に告知されることが重要であると私は信じています。以下は、リスクのすべてではありませんが、いくつかについて説明されています。

[リスクの説明文添付箇所]

\_\_\_\_\_は、参加者に負傷または死亡のリスクがあることを言い含めており、私はそのことを認識しています。

内包されるリスクの説明は完全ではないこと、そして未知または予期しないその他の固有リスクは負傷または死亡につながる可能性がある、そのようなことを私は理解しています。

ここで特定された特有のリスクおよび具体的に特定されていない特有のリスクについて、私は全責任を負い、受け入れることに同意します。

この活動への私の参加は純粋に任意であり、誰も私に参加を強要していません。私は、特有のリスクにもかかわらず、それらに関する完全な知識を持って参加することを選択します。

この活動に参加するには、他の活動とは異なるある程度のスキルと知識が必要になることを私は認識しており、また参加者としての責任があることも私は認識しています。

\_\_\_\_\_のスタッフが、このアクティビティの性質と物理的に要求されること、およびこの活動に関連する特有のリスク、危険性、および危険について、より完全に説明してくれたことを私は認めます。

私はこの活動に完全に参加できることを保証します。

したがって私は、自分自身並びに私の保護管理下にある子供に関する以下の事柄への全責任をとることにします；このアクティビティに参加する私自身の過失により生じるであろう、ここで特定されたもしくは特定されていないリスクと危険性の結果としてのケガや死、個人の財産と費用の損失。

私はここに記載されている条件を注意深く読み、明確に理解しました。この契約が私自身、私の相続人、譲受人、代理人、財産、および未成年の子供を含む私の家族のすべてのメンバーに対して有効であることに同意します。

\_\_\_\_\_  
署名

\_\_\_\_\_  
日付

参加者が 18 才未満の場合は、保護者の親の署名

\_\_\_\_\_  
署名

\_\_\_\_\_  
日付

## 2 アクティビティのレベル表示

例えばハイキングツアーで求められる体力レベルや技術レベルの表示は、クライアントが自分に適したツアーを選ぶため、また正しくリスクを理解するために必ず必要となります。しかし、情報提供の仕方がクライアントの目線に立ったものでなければ意味のないものとなってしまいます。

### ※ SAC (<https://www.sac-cas.ch/en/>) Hiking Scale

ヨーロッパでは国際的なグレーディングシステムとして、2002年に Swiss Alpine Club (SAC) により考案された「SAC Hiking Scale」というものが浸透しつつありますが、ドイツ、オーストリア、イタリアなどで未だ若干の違いを残しており、また同じ国の中でも地域による独自のスケールを用いているエリアもあります。ここで表されるグレードは技術面のグレードであり、体力面の表記はされていません。そのためクライアント目線で考えるとユーザーフレンドリーとは言えないのが現状です。

外国人クライアントへの情報開示としては、SACを参考としつつも、技術面と体力面を独自のグレードを定義し、標高差や歩行距離などとともに一覧表などで明確に示すことをお勧めします。好事例として埼玉県のカント事業者「Kanto Adventures\*」の表記方法を以下に抜粋して紹介します。

"It is very difficult to put a simple grade on a hike, just calling them easy, intermediate, or difficult. There are many factors involved in any hiking route that need to be considered when deciding if you are prepared to complete a certain hike. To help make this easier for our participants, we have developed a system that considers the technical difficulty of a hike as well as the fitness level involved.

ハイキングを初級、中級、上級のように分類することはとても困難です。ハイキングルートの計画では考慮しなければいけない様々な要因が存在します。この点に関して我々は、クライアントにとってわかりやすくする目的で技術レベルと体力レベルを考慮した以下のグレードシステムを考案しました。

#### ■ Technical Grades 技術レベル

- ❖ Level 1: Walking with a low chance of injury, light trekking shoes or approach shoes are okay for this level.  
ケガの可能性はとても低く、アプローチシューズや軽登山靴でもOK。
- ❖ Level 2: Mountain climbing, with the possibility of occasional use of the hands or chains or ropes to move up the route. Little potential danger is encountered. Ankle high hiking boots strongly recommended.  
時おり鎖場やロープがあったり、手を使うことが必要な山登り。しかしそこまでの危険性はない。ハイカットブーツが必要。
- ❖ Level 3: Scrambling with increased exposure. Handholds are necessary. Chains, ladders, and other aids may be in place on the route to navigate safely. Exposure is present, and falls could result in serious injury or death.  
手を使った岩登り（スクランプリング）が含まれる。安全確保のために、鎖場、梯子やその他の手がかりに頼ることが不可欠。高所感があり、滑落は重大な怪我や死につながる。

#### ■ Fitness Levels 体力レベル

- ❖ A: Easiest - Suitable for people of all ages who are in fair condition. Elevation gain of less than 500 meters and less than 10km of distance total.  
健康であればすべての年代に適する。標高差は500m未満であり、総距離は10km未満。
- ❖ B: Easy - Suitable for people of most ages who have a basic fitness level. Elevation gain of less than 800 meters and less than 12km of distance total.  
基本的な運動ができるのであれば、ほぼすべての年代に適する。標高差は800m未満、総距離は12km未満。
- ❖ C: Moderate - Reasonably fit hikers who get out at least once a month should be able to do this level. This level would be considered easy for frequent hikers. Elevation gain of 800-1,500 meters and a maximum distance of 15km in a day.  
月に1度以上は登山しているくらいの体力のある人向け。健脚な人から見ると、簡単に感じるようなレベル。標高差は800~1500m未満、1日の合計は最大でも15km。
- ❖ D: Challenging - Regular hiking experience is required to participate in hikes at this level. Elevation gain of more than 1,000 meters and potentially more than 15km distance in one day. Combination of significant elevation gain and long distance make this level a challenge for many.  
このレベルに参加できるのは、頻繁に登山をしている人だけ。標高差は最低でも1000m、1日に15km以上歩くことも。標高差と水平移動距離の組み合わせにより、多くの人はこのレベルを難しいと感じる。
- ❖ E: Very Difficult - Long distances and big elevation gains make this level. High fitness level is required because speed will be important to complete.  
長い距離と大きな標高差によりこのレベルが決まる。歩き切るためにはスピードが命なので、高い体力レベルが求められる。

\*[Kanto Adventures] < <https://www.kantoadventures.com/> >



### 3 ガイドとしての自己紹介

自己紹介はクライアントに初めて会った時に必ず行います。“First impressions are everything”（第一印象で決まる）ということわざにもあるように、自己紹介の成功がクライアントとの関係づくり、ひいてはツアーの成功への第一歩となります。実は自己紹介というのはコミュニケーションという観点から見ると特殊な作業です。それは相手に既に聞く体制ができていて、あとはアイコンタクトなどで相手の反応に合わせてペースを作り、ボディランゲージを交えて声の強弱などを微調整すれば良いだけなので、100%近く練習と同じ形で行えることになります。そのため事前に練習をしておく効果は絶大となります。

自己紹介の成功をきっかけに自分自身でFlowを作り出せれば、自信をもってその後のツアーをリードすることもできるはずで。内容は、名前、(仕事)、趣味、出身(居住地)、家族などの基本情報で十分です。笑いの要素もあるに越したことはありませんが、自分のキャラに合わないことはしないほうが良いでしょう。外見や振る舞いにも配慮し、ガイドとして信頼に足る人物であるということを知ってもらいましょう。

### 4 ブリーフィング

ブリーフィングとは要点の説明や行動を起こす前の最終説明であると定義されています。入念な打ち合わせはツアー当日までに済ませているので、ここではガイド中に必要な事柄に絞った情報の共有を行います。当日に初めてクライアントと顔を合わせる状況では、ガイドの自己紹介から開始してください。また時間も5~10分程度かかることを事前に伝え、クライアントが快適に話を聞ける状況を作りましょう。例えばバックパックを降ろしてもらったり、トイレを我慢している人がいないか声をかけること、また暑い日には日陰に誘導することなどです。ブリーフィングでは、確認し忘れる避けるために必ずチェックリストを事前に作成し、それに沿った確認を行ってください。

ここでは必ずしも流暢な英語でなくても大丈夫です。ガイドからの情報をクライアントが正しく理解できている、またクライアントからの情報をガイドが正しく理解できていることが重要となります。またクライアントの認識できる単位を使うことも重要です。例えば日本人がコロラドのツアーに参加して、ブリーフィングで「今日は2,000feetの標高差の登りで、風速は2mphに満たなく、最高気温は90°Fになるので、しっかり暑さ対策するように!」といわれても、多くの日本人が意味を理解できないことでしょう。クライアントが日常的に親しんでいる単位系に置き換えて伝えることも重要となります。

例えばツアーのクライアントがアメリカ人とイギリス人の場合、気温は Fahrenheit、標高はFeet、距離はMile、風速はmph(マイル/時間)。気温に関しては大まかに感覚として理解(32F = 0℃/50F = 10℃/100F = 37.8℃)したうえで、換算表を用いると活用しやすいと思います。標高に関してはまずは身近なもの、例えば身長を感覚として理解しておきましょう。160cm=5' 3" (5フィート3インチ)/170cm=5' 6"/180cm=5' 9" となります。山でいうと日本一の富士山は約12,389ftとなります。風速に関してもやはり同じで例えば登山でリスクとして認識し始める風速8m/秒=約18mph、登山中止目安の風速15m/秒=約34mphとなります。降水量についてはアメリカではinchが使われています。しかし実際のところ降水量はコンセプトとして一般常識的にはあまり良く理解されていないので、数値などは使わずに言葉で伝える方が誤解がなく、よりシンプルに理解してもらうことができるでしょう。表現方法は後述の「天気を表す単語」を参照してください。

◆参考：気温、標高、風速の換算表

| Temperature Conversion |       |
|------------------------|-------|
| ℃                      | °F    |
| -5                     | 23    |
| -3                     | 26    |
| -1                     | 30    |
| 0                      | 32    |
| 5                      | 41    |
| 10                     | 50    |
| 15                     | 59    |
| 20                     | 68    |
| 25                     | 77    |
| 30                     | 86    |
| 32                     | 90    |
| 33                     | 91.4  |
| 34                     | 93.2  |
| 35                     | 95    |
| 36                     | 96.8  |
| 37                     | 98.6  |
| 38                     | 100.4 |
| 39                     | 102   |
| 40                     | 104   |
| 45                     | 113   |

| Length Conversion |        |
|-------------------|--------|
| Meter             | Feet   |
| 250               | 820    |
| 500               | 1,640  |
| 1,000             | 3,281  |
| 1,250             | 4,101  |
| 1,500             | 4,921  |
| 1,750             | 5,741  |
| 2,000             | 6,562  |
| 2,250             | 7,382  |
| 2,500             | 8,020  |
| 2,750             | 9,022  |
| 3,000             | 9,843  |
| 3,250             | 10,660 |
| 3,500             | 11,480 |
| 3,750             | 12,300 |
| 3,776             | 12,390 |
| 4,000             | 13,120 |

| Wind Speed Conversion |                   |
|-----------------------|-------------------|
| 秒速(m/s)               | 時速(mph)<br>おおよその値 |
| 1                     | 2.24              |
| 2                     | 4.47              |
| 3                     | 6.70              |
| 4                     | 8.95              |
| 5                     | 11.2              |
| 6                     | 13.4              |
| 7                     | 15.7              |
| 8                     | 17.9              |
| 9                     | 20.1              |
| 10                    | 22.37             |
| 11                    | 24.6              |
| 12                    | 26.9              |
| 13                    | 29.0              |
| 14                    | 31.3              |
| 15                    | 33.6              |
| 16                    | 35.8              |
| 17                    | 38.0              |
| 18                    | 40.27             |
| 19                    | 42.5              |
| 20                    | 44.7              |

## 5 ガイド中の日常会話 : Active Listening

コミュニケーションにおいて「聞く」ことは、「話す」ことよりも重要です。ガイドが自分の話を聞いてくれるというだけで、クライアントからの信頼形成に大きなプラスとなります。「7(聞く) : 3(話す)」くらいの感覚で、相手が話している時間を長く取るようにしましょう。心理学的な分析でも「7 : 3」テクニックの有効性が確認できます。人々が会話をするとき、その内訳のほとんどは「自分自身・他の人・対象物」の3つだと言われ、さらに自分自身について話している割合は実に6割となっています。自分自身の話を人に聞かせているとき、脳内では神経伝達物質であるドーパミンが分泌され、それにより甘いものやドラッグを摂取した時に得られるような高揚感を得ることができます。そのため、人間には一方的に自分の話を人に聞かせたいという欲求があるのです。身体的な負荷などを意図的に取り入れるようにデザインされたアウトドアツアーでは、グループ内の結束も重要となります。そのグループをリードするガイドはクライアントからの信頼を得ないと、リーダーシップを取ることも難しくなります。クライアントが主役となり、ガイドはその話を聞く姿勢をとることで、クライアントからの信頼も得やすくなるでしょう。

※参考 YouTube: How to level up your conversation skills! | 110 Seconds | Communication hack

< <https://www.youtube.com/watch?v=R55BoXL0184> >

### ◆相手の話を聞いて理解していることを、さりげなく表現するフレーズ

- Uh-huh..
- I see
- Right.
- Wow.
- Really?
- So am I. / So do I.
- Same here.
- Exactly.
- You must be kidding.
- No way.
- That must have been tough.
- Neither am I. / Neither do I.



### ◆相手の言葉を自分が正しく理解しているかどうかの確認方法

- 相手に同じ言葉で繰り返してもらおう  
(I am sorry but could you repeat that again?)
- 相手に違う言い方で繰り返してもらおう  
(I am sorry to bother you but I don't think I understand what you have just said. Would you mind rephrasing it to me?)
- 自分がリフレーズ(言い換え)して、自分が正しく理解しているか相手に確認してもらおう  
(I am sorry to ask you this, but I need to be sure I understood you correctly. Are you saying ~?)

### ◆何を話す?

#### ・キッカケ

自分が特定の話題について会話を始める場合、その内容が、TPO (Time, Place, Occasion = 時、場所、場合) に即していないと、いかにも強引な印象を与え、時にはクライアントを苛立たせてしまうことがあります。そんな時、この「不自然な」会話を、スムーズで「自然な」会話へと変えてしまう魔法が、このきっかけ作りという、とても重要な作業なのです。

#### ・話す内容

「何を話すか」を考えようとするのではなく、目の前のクライアントをよく観察し、クライアントの現在(いま)、さらには過去・未来のことや、その人をとりまく家族や仕事のことなどに思いを巡らせて、話題を探しましょう。

話題は楽しい話題が良いに越したことはありません。一般的には、天候だけは唯一ネガティブな内容でも大丈夫と言われていますが、ガイドング中には注意が必要です。天気が良ければもっと良い景色が見られたはずなのに・・・、と言ってしまうと何か損をした気分になってしまいます。もしみんなが同じ天候体験を共有しているのであれば、雨の中でしか体験できない特別なことを発見し、仲間としての一体感を向上できる良いチャンスに変えていきましょう。



## 6 インタープリテーションとは

外国人顧客が求める旅を演出する仕掛けの一つがインタープリテーションです。インタープリテーションを直訳すると「通訳」という意味ですが、「インタープリテーション入門 自然解説技術ハンドブック」では、“インタープリテーションとは自然体験を通じて、物事や事象の背後にある意味や、相互の関係あるいは自然の大原則を解き明かし、人々に興味を起こさせるもの”と定義されています。皆さんは既に習得している技術ですが、クライアントが能動的に何かを感じ取るためのインタープリテーションを意識し、改めて基本を確認しましょう。

### ◆カナダの登山ガイド\*資格講習内での定義

\*参考/ACMG (Association of Canadian Mountain Guide カナダ山岳ガイド連盟)<<https://www.acmg.ca>>

“Interpretation is any communication process which aims to reveal meanings and relationships through first-hand experience with an object, artifact, landscape or site. The nugget in this definition is the part about meanings and relationships. Interpretation is revealing. It opens people to new worlds. An alternate title for interpreter could be “meaning maker.”

インタープリテーションとは、物、人工遺物、景色や場所を介し、直接体験によって意味と関係性を解き明かすことを狙いとした、コミュニケーションの過程を意味します。この定義におけるポイントは、意味と関係性です。インタープリテーションとは隠されていることを明らかにすること。それにより、人々は新たな世界へと誘われます。インタープリテーションを行う人は、価値や意味の創造者とも呼べるでしょう。

“Another definition is an informational and inspirational process designed to enhance understanding, appreciation and protection of cultural and natural heritage. The nugget in this definition is the part about it being informational and inspirational. Interpretation is not just information. It inspires the client by being compelling and it should provoke a response (emotional or intellectual) from the group.”

その他の定義では、文化遺産や自然遺産の真価を認識し、また理解を向上するためにデザインされた、情報提供並びに感化させるプロセスと定義されています。この定義におけるポイントは、情報提供と感化です。インタープリテーションは単なる情報提供だけではありません。インタープリテーションはクライアントを巻き込み、鼓舞し、またそれはグループを刺激し、感情的または知性的な反応を引き起こすのです。

“And here is one final definition; A good interpretation is like a bikini or a pair of briefs. It should: 1) provoke interest; 2) excite the imagination; and 3) reveal the most interesting features. The nugget here is that interpretation is fun!”

そして最後の定義では「良いインタープリテーションとはビキニやブリーフのようなものです。それは：1) 興味を刺激するものであり、2) 想像力を掻き立てるものであり、3) 最も興味深い特徴を明らかにするもの。この定義におけるポイントは楽しむことです！

“Remember that interpretation is different from formal education! ..., not a classroom and people are on vacation... They are there to have fun, to enrich their vacation experience, and to learn about something that they have an interest in.”

忘れてはいけないことは、インタープリテーションは学校教育とは異なることです。彼らは学校の教室にいるのではなく、バケーション中なのです。彼らは楽しむために、休暇を充実した体験にするために、そして彼らが興味のあることを学ぶためにここに来ているのです。

### ◆つまりインタープリテーションは

- 自然界に隠された意味と関係性を直接体験によって解き明かし、
- 自然や文化遺産の真価や理解を向上させ、
- 単なる情報提供にとどまらず、
- クライアントを感化し、
- 感情的で知性的なグループダイナミズムを生み出し、
- そして何よりクライアントの興味や想像力を刺激する。

このように英語文化圏のガイドたちは、インタープリテーションを通じてガイディングに付加価値を与え、特別な旅を演出しているため、訪日外国人であるクライアントは日本人ガイドに対しても同じレベルの、しかし日本特有の感動を期待しています。

## ◆ YouTube から学ぶ

今日ではITの発達により、その気になれば外国語に接する機会は無限大にあります。特にYouTubeには無数の動画が挙げられており、そこから多くの見本を見つけることができます。例えばTED Talkです。その中でも「What you didn't know about coffee」で検索<<https://www.youtube.com/watch?v=JaQNY0Ef4YY>>をすると出てくる動画は、まさにインタープリテーションと呼べるものです。そのほか、話に引き込まれる、感化される、新しい価値観を知った等、興味を惹かれるものがあれば、ぜひともその動画を分析してみてください。

## 7 インタープリテーションに必要とされる英語力

基本的な語彙力及び幅広い専門用語とアカデミックな表現方法が必要であり、英語レベルとしての目安は英語圏の大学卒業レベルの英語力となります。また英語ガイディングのシーンでは、スルーガイド時のようにガイドには観光ガイドの知識が求められることも多いでしょう。そのような場合は一般的な日本文化や北海道学を英語で説明する能力も求められます。幸い通訳案内士試験向けの参考書が書店に立ち並ぶ時代になったので、一般的な歴史文化の英語表現に関しては書店でも簡単に見つけることができそうです。しかし筆記試験対策の参考書は必要ではない為、やはり参考書の選び方にも工夫が必要です。

### ◆ 参考書例

- 「Finding Japan: Robert Reed 著」;外国人目線で日本文化を紹介するガイドブックなので、観光ガイディングの参考となります。音声CDが付属されたものを入手し、音として捉えながら文字を追う勉強方法であれば実用的な表現方法などが学びやすいと思います。
- 「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」;行政の取り組みとして、旅行に関する案内に必要な英語表現などをまとめるプロジェクトです。日本全国の観光に関するあらゆる英語表現を確認することができます。北海道観光で活用できる部分は平成30年度「解説文事例集 [2] 北海道・東北エリア」、令和2年度「解説文事例集 [6] 自然分野」の「049」～「051」、また令和元年度「解説文事例集 [6] 自然分野」の「063 - 001」～「068 - 001」などでしょう。  
< <https://www.mlit.go.jp/kankochu/shisaku/kankochi/multilingual-kaisetsu.html> >

## 8 Natural History / 英単語表の作成

英語文化圏ではNatural Historyという学問の分野が存在します。日本語では博物学と呼ばれるもので、自然に存在するものについて研究する学問です。広義には自然科学のすべてを指すので、日本の学校の教科に例えると「文化史+生物学+地学+地理+哲学」といったところでしょうか。特に国立公園などを訪れる訪日外国人の間では、日本独特の文化、自然や地理的特徴を含むNatural History of Japanese Natureに強い興味関心を持つ傾向があるため、ガイドにもNatural Historyという視点で日本の魅力を再発見し整理する努力が必要です。幸い、北海道アウトドアガイド資格の基礎項目にまさにこのNatural Historyが含まれています。

しかし、皆さんがこれまで勉強してきた北海道学を英語化する際に注意が必要な点があります。よくあるミスコミュニケーションの原因として、ガイドがネット検索や和英辞典のみに頼っていることが考えられます。例えば登山ギア名称、動植物名、数字の単位等において一般的ではない方の訳をそのまま使ってしまうと、クライアントに全く通じないということも起こりかねません。辞書を使う際には、必ず英英辞典も用いて訳された英語が英語として意味を成すものなのか、ダブルチェックを行きましょう。

ここにミスコミュニケーションが起こりがちな英語表現をいくつか紹介します。

### ● 伝わらない英語表現例 ①：学名

植物には一般名称と学名がありますが、日本固有の植物であれば英語での一般名称が存在しないものが多いです。そのような場合に学名で紹介をしてもクライアントには何のことかさっぱり伝わらないので、インタープリテーションを活用するなど各自の発信の仕方に工夫が求められます。英語での一般名称が分からない場合には日本語での一般名称を紹介し、英語で一般的に知られている植物だと何に近いのかを説明するのも良いかもしれません。

○大きなカテゴリーで表現したければ科 (family) で、また小さなカテゴリーならば種 (species) で、同じカテゴリーの植物を比較して説明をしてみましょう。

○ものによっても英語名は存在するものの、それが必ずしも正しい表現だとは限らないことも注意が必要です。例えばカタクリ。カタクリはユリ科 (Lily) です。英語での一般名称が存在はしますが、カタクリ自体が英語圏の国には存在しないため (北東アジアのみ分布)、学術的に正しくない “dog’s tooth violet” と表現されており、補足説明なしにはスミレだと誤認されるかもしれません [It is called “a dog’s tooth violet” in English, but it actually belongs to Family Liliaceae,... which is a Lily!] などのように紹介をすると良いかもしれません。上記のような面倒な言い回しを避けたければ、和名で “Katakuri” と紹介し “... and a close relative to Katakuri is the Glacier Lily seen in the Rocky Mountains” と表現しても良いでしょう。ちなみに生物の分類学においては、大きなくくりでは以下の階級 (category) があるので、説明の際の参考にしてください。

目 : order

科 : family

属 : genus (複数形は genera)

種 : species (単数形も複数形も同じ)

北海道には動植物全般で北海道の固有種が多く見られますが、いきなり固有名を説明しても、クライアントは何の話をしているのか理解できません。例えばエゾクロテンの説明に Sable といっても、よく伝わらないかもしれません。Generic to Specific の原則を用いて、まずは weasle > marten のように広義の名称から始めましょう。

中には、辞書に載ってる英語名称自体が上手に北海道の固有名詞を説明しているものもあります。

例)

エゾリス : Hokkaido red squirrel

エゾシカ : Yezo deer / Hokkaido Sika deer

エゾヒグマ : Ezo brown bear

キタキツネ : Ezo red fox

英語辞書に載っている英語名称そのままでは伝わらないものも多くあるので、ガイディング中に辞書を調べながら解説することは避け、下見の段階で英語表現を一通り検討することをお勧めします。

#### ◆参考図書

北海道は、氷河期にベーリング海峡により北米と地続きとなっていた時期があります。その後現代にいたるまで気候条件などがカナダと近似することにより、特に高山植物においてはカナディアンロッキーの高山植物と多くの共通点を見つけることができます。そのため「カナディアンロッキーの高山植物 (クラックス パブリッシング)」を参考にすることで北海道の高山植物が英語ではどのように表現されているのかを知ることができます。この書籍は日本語と英語 (一般名称並びに学名) の両方で花の名前を紹介しており、カナダのバンフ国立公園ではとても有名なガイドブックです。ネット通販であれば日本からでも入手は可能です。

#### ●伝わらない英語表現例 ② : 単位

100万円 (1,000,000)。日本語表記をそのまま訳すと Hundred ten thousand yen となってしまいますが、これでは伝わりません。西洋では1000を一つのまとまりとしてとらえ、そのまとまりごとに点 (カンマ) をつけていますので、読み方もその区切りごとに読みます。

- 10 = ten
- 100 = hundred
- 1,000 = thousand
- 10,000 = 10 thousand
- 100,000 = 100 thousand
- 1,000,000 = one million (1つ上の位のくくりとなる)

したがって100万円は、one million yenとなります。1,000万円は、100万円が10個なので、10 millionとなります。基本的にはクライアントの国の単位に置き換えて伝えると良いでしょう。ドル、ユーロ、ポンド等。(ざっくりと1万円は100ドル。10万円は1,000ドル。100万円は10,000ドル、つまりten thousand dollars)。

標高、気温、距離などはBriefingの項目を参照してください。

#### ◆参考: 天気を表す英語表現

<[https://eikaiwa.weblio.jp/column/phrases/natural\\_english/weather-vocabulary](https://eikaiwa.weblio.jp/column/phrases/natural_english/weather-vocabulary)>

##### →雨の強さ

- ・「raining」= 雨降りを指す幅広い表現
- ・「drizzle」= 静かにしとしとと雨の降るさま
- ・「sprinkle」= 降り始めのばらつく雨
- ・「shower」= 唐突に短く降るにわか雨
- ・「pour」= バケツをひっくり返したような豪雨
- ・「downpour」= さらにひどい集中豪雨
- ・「rainstorm」= 雨と風が襲う暴風雨

##### →雪

- ・「snowy」= 白い雪が舞い降るさま
- ・「sleety」= みぞれが降るさま
- ・「hail」= あられが降るさま
- ・「snowstorm」= 吹き付ける大雪

##### →霧

- ・「hazy」= 熱気がかすんださま
- ・「misty」= 遠くが見えにくいさま
- ・「foggy」= 深い霧に覆われたさま

##### →風の状態

- ・「balmy」= 心地よい風に吹かれる感じ
- ・「breezy」= 若干強いけど爽快な風が吹く感じ
- ・「windy」= けっこう強い風が吹くさま
- ・「gale」= かなり強い風に吹かれるさま
- ・「gusty」= 突然吹く強い風
- ・「stormy」= 暴風というか嵐
- ・「blustorous」= 突発的な強風・暴風

##### →晴れ

- ・「sunny」= 陽光が明るい晴れ渡った天気
- ・「clear」= 雲ひとつない快晴
- ・「fine」= 晴れて乾いた天気
- ・「nice」「beautiful」= 日常でよく使う表現

##### →曇り

- ・「cloudy」= くもり (雲が一部でも全部でも)
- ・「overcast」= 一面が雲に覆われた空
- ・「gloomy」= 気が塞ぐような曇天
- ・「dark」= 日の光も遮られるような暗雲の空

##### →雷

- ・「thunder」= 雷鳴
- ・「lightning」= 稲光
- ・「thunderstorm」= 近い表現は雷

## 9 英語インタープリテーション作成：6つのステップ

### ① テーマとメッセージ

インタープリテーションは旅行者が内面から変わっていくための仕掛けであることを意識すると、ツアー作成者の意図を理解し、クライアントにツアー終了時に何を感じ、持ち帰ってもらいたいかを具体的にイメージする必要があるでしょう。どのようなメッセージをちりばめるべきかを熟考します。

### ② 共通認識の範囲

また忘れてはいけないことは、クライアントは英語文化圏の方々であり、また暮らしている自然環境も様々です。ガイディングの基本である対象者理解もここでは重要なポイントとなります。ジェスチャーや比喩などは、共通認識がない部分を理解したうえで使わないと混乱を生むだけとなってしまいます。

### ③ 題材の発見

体験を伴った感動を与えるインタープリテーションの題材は、ガイドブックやインターネットでは見つからないかもしれません。実際に現地へ足を運び、観察を通じて話の材料を発掘することが理想です。英語文化圏のクライアントは natural history を好むので、natural history of Hokkaido を意識した題材が良いでしょう。

### ④ リサーチ

対象物が定まったら、次はリサーチを行います。この段階では本やインターネットが活躍するかもしれませんが。地元の人に聞くことでしか得られない情報もあるでしょう。

### ⑤ メッセージとともに織り上げる

織り上げる際の骨子としては「Introduction / Body / Conclusion」の三段構えが英語文化圏での基本となりますが、日本式の作文に慣れている方は、「起・承・転・結」でまとめるのも良いでしょう。実は偶然にも、この4段階の構成は、英語文化圏の「お笑い」である Stand-up Comedy のアウトラインに合致しています。

|   | 起承転結 | Stand-up comedy | 意味                            |
|---|------|-----------------|-------------------------------|
| 1 | 起    | Catch / Hook    | 聞き手の興味をつかむ                    |
| 2 | 承    | Set up          | 後編のクライマックスに向けての伏線             |
| 3 | 転    | Punch line      | 予期していな方向からのストーリー転換。構成に躍動を持たせる |
| 4 | 結    | Message         | 自分の思いを入れる                     |

### ⑥ インタープリテーションを描く手法を決める

命を吹き込む作業です。伝え方、擬人化、ストーリーテリング、紙芝居、小道具、寸劇など、インタープリテーションを生き生きと描く手法を模索します。

## 10 インタープリテーションの引き出し

### ◆ General vs Specific

このような流れで作成したインタープリテーションを、ガイド行程表に落とし込み、また地図にもマーキングを行います。これらは Place specific なインタープリテーションになります。これはその場に行かない限り表現できない題材です。

手持ちの話題がこれしかなければ、その場所に行けない場合には話題がなくなってしまいます。そのような事態に備えて、どんな場所でもどんなタイミングでも使える general なインタープリテーションも自分の引き出しに備えておきましょう。これらは別のアクティビティや観光ガイドの際にも活用できる汎用性の高いものとなり、あなたのガイディングに深みと流動性をもたらしてくれるでしょう。



## 11 クライアントケア

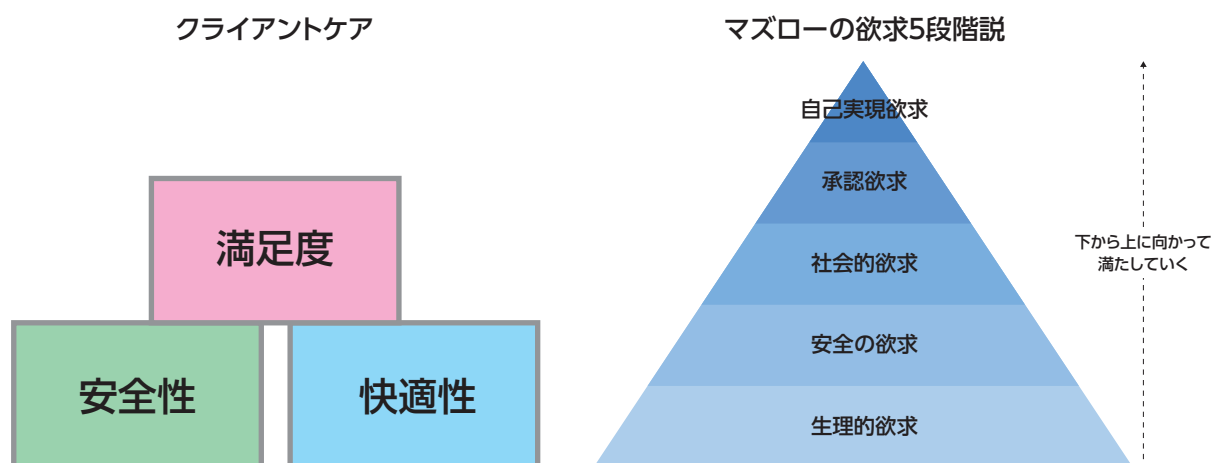
ACMGにおいてクライアントケアがどのように捉えられているか見てみましょう。

“Client care is what sets professional guiding apart from recreational activities. In a professional relationship, a guide puts aside personal ambitions and focuses on the clients’ needs. The safety of the clients, the quality of their experience, and attainment of goals are the primary responsibility of the guide. In order to fulfill this requirement, a guide must manage clients effectively by communicating clearly, and in some situations exercising control to ensure safety...., client care is based around safety, comfort and enjoyment. Choosing trips suitable to the clients’ profile is the first step to ensure a successful outing.”

クライアントケアとは、単なるレクリエーション活動とプロフェッショナルとしてのガイディングを分けるものです。プロとしてのクライアントとの関係性においては、ガイド自身の個人的な野心は後回しになり、フォーカスはクライアントの求めることに向けられます。安全と良質な体験をクライアントへ提供し、また彼らの旅の目的を達成させることがガイドの主要な責任となります。これらの需要を達成するには、明確なコミュニケーションを用いて、ガイドはクライアントを効果的にコントロールしなければいけません。場合によって安全確保の為には、クライアントを制御することも求められます。このように、クライアントケアは「安全管理」「快適性」「顧客満足度」を軸に形作られます。したがって、山旅の成功への第一ステップはクライアントのプロファイルに適したプランを提供することから始まります。

## 12 クライアントケアの3つのブロック：「安全性」・「快適性」・「満足度」

アメリカの心理学者「アブラハム・マズロー」によると人間の欲求は5段階で構成されており、一番下の生理的欲求から上に向かってクリアすることで最終的に自己実現に達するとのことです。これをガイディングに当てはめて考えると、空腹など生命維持に必要な生理的欲求などを満たさずして、いきなり自己実現へのステップにたどり着くことはできない、ということになります。このように心理学的な見地からも、クライアントの安全性、快適性を順次クリアすることで、ようやく顧客満足度を高めることができると言えます。



出典： <https://prdx.co.jp/visions-prdx/maslow/>

## ① 「安全性」

リスク評価に基づいた安全管理を行います。ここではクライアントのコントロールに関連する安全管理について紹介します。リスク管理自体に関しては、「ガイディングのためのリスクマネジメント（北海道観光振興機構）」をご参照ください。ガイディングにおいてクライアントの個人的目的をかなえることも重要ですが、安全担保の為に目的達成と、許容できるリスクとの間でバランスを保つ必要があります。場合によってはクライアントの個人的な目的は優先されないこともあります。クライアントコントロールでは以下の段階を考慮しましょう。

- Pro-active Control（先回りした）；物理的な抑制を行わなくても済むように、クライアントに対して事前にルールを伝え、許容されない行動とは何かを共有することが必要です。
- Low level Control（水面下の）；クライアントを疲労させないように歩くペースをコントロールしたり、水分補給のためこまめに休憩を取ったりなど、わざわざ口に出して説明はしないものの、水面下ではガイドによるコントロールが働いています。日常会話などを通じて、日本人が得意な「察する」力を発揮することも良いでしょう。
- Explicit Control（明示的な）；強制的なルールや規制は、特別な理由がない限り行使されるべきではありません。しかし従わせる必要がある状況では、その理由を明確に説明することが最も重要です。何故従わなければいけないのか、そうしなければどういう結果が待っているのかを理論的に理解してもらい、建設的な関係を保ちましょう。

例）クライアントが繰り返し登山道から外れて歩くことをしている場合、まずは、何が問題かを指摘し、自然に対してどのような負荷がかかるのかを説明し、許容できる模範的な行動とは何かを明確に伝えましょう。このとき「ダメ」という言葉を用いる前に、こうした方が「良い」という表現を使い、強制的にルールに従わせるよりも協力を依頼するスタンスを試みましょう。コンプライアンスに正しく従っている場合には、“You are doing a great job of staying on the trail. Thank you for your effort.”等のポジティブなフィードバックを行うことで建設的な関係を保つことができます。

## ② 「快適性」

クライアントの身体的、精神的な快適さを維持することはガイドの責任となります。物理的快適性は登山ギア、食べ物、環境要因からの保護などで担保されますが、精神的な快適性は単純に恐れなどにより阻害されるだけでなく、例えば寒さなどの物理的不快性によって阻害されることも多くあります。クライアントに接する際には論理的で落ち着いた態度で、そして自信をもって接してください。

また定期的にクライアントの快適さをチェックする必要もありますが、これは対話、観察、そして直観により捉えることができます。もしくは単純にクライアントに話しかけるだけで確認できることかもしれませんが、この方法の落とし穴は、不快なことが生じていてもクライアントは我慢してしまう傾向があることです。その問題は、ルーティン化された規則のようなものを設けることで解決できるかもしれません。例えば、ハイキングでは歩き始めから30分でレイヤーブレイクを必ず設けて、体温の調整とホットスポット（ブリストアの手前の不快症状）のチェックを促すことなど。ペースングが一番遅い人が辛いペースをガイドが生み出し、グループのスピードをコントロールしていきましょう。休憩のタイミングでトイレや水の補給の確認は必要ですが、あまり頻繁に聞きすぎると、かえってストレスになることもあります。

## ③ 「満足度」

もしもアウトドアアクティビティが満喫できるものでなければ、それはただの苦行になってしまいかねません。早い段階でクライアントとのアイスブレイクをして、彼らにとってのメンター（助言者）や友人としての側面から、彼らの旅の目的を知り、特別な体験を実現させてあげましょう。よく気が付く添乗員をイメージして、その「おもてなし」を真似するのも良いでしょう。

### 13 注意喚起に関して

注意喚起でよくあるのは、インストラクションなしに「注意してください!」と言葉だけで同じことを何度も繰り返すだけに終わってしまうことです。一体何をどのように注意すればよいのでしょうか?日本人のお客さん相手には「丁寧なガイドさん」として捉えられるかもしれませんが、海外のクライアントには「不必要に形だけのアナウンスをしている」と捉えられかねない状況が多くみられます。危険度が高いときほど、clear & logical reasoning を伴った明示的なコントロール (Explicit-Control) が求められます。また長野県で実施されたモニター登山では、「何を注意するのか説明してほしい」、「子供でもないのに繰り返し同じことを言われたくない」という声が多く聞かれました。インストラクションは、適したタイミングで、明確に、全てのクライアントに伝わるように行ってください。同じ内容のインストラクションが必要な場面が再度現れたら、本当に必要であれば同じ内容とボリュームのインストラクションを行い、そうでない場合には、例えば「枝に注意してください」などの簡易的なリマインドだけにとどめましょう。逆説的にいうと、ちゃんとしたインストラクションの後でなければ「注意してください」は成り立たないのです。

注意喚起とは、本来は本当に注意が必要な時に行うものです。そうでなければ本当に必要な時にその声は聞き流されてしまいます。例えば、継続してぬかるんだ道を歩いているのなら、「muddy and slippery」と言い続ける必要はありません。もし注意が必要な場面が何度も続けば既にクライアントも学習しているので、その後は特に言わずに、例えば、その注意が必要な場所の手前でグループの足をいったん止める、もしくはペースを落とすなどの Low-level Control でクライアントを安全に通過させる、見守るスタイルも必要になってきます。

また日本人ツアー登山では、「Guide to Client Ratio」をみるとガイド1人に対するクライアントの数が多いため注意喚起などを伝言ゲームのように後ろへ伝えているシチュエーションを多く見かけます。しかしこれは、うまく実施しないと形だけのアナウンスになる危険性があります。もし伝言ゲーム方式を取り入れるならば、初めのインストラクションは全員に向かい実施し、その時にこの先に同じ場面が現れた場合は伝言ゲームを活用する旨も伝えてください。そのようなプロセスの後であれば、危険喚起のリマインド (例; Watch out for branches! Pass this on!) として後ろに伝えてもらうことは問題ないでしょう。しかしあまりにもグループが大きく、またペースを失敗してクライアントの間が空きすぎてしまっている場合には、この方法は形だけのものとなってしまいます。その危険性も含めて、インバウンドツアーでは、少人数制でテールガイド付きが理想的となります。



## 14 ホスピタリティとは？

日本国内では一般的には以下のように考えられています；

- 「おもてなし、思いやり、気配りや配慮、心遣い」
- 「やわらかな表情や声、丁寧な所作など」
- 「お客様が何を望んでいるかを探り、それに応じること」

また英語文化圏の旅行業界の姿勢としては「Customer is always right」が主流です。ではインバウンドガイドとしての姿勢はどうあるべきでしょうか？ガイドとしては快適な環境の提供だけではなく、コミュニケーションにおける快適性の提供、またリスク管理に裏付けされた安心感の提供もホスピタリティの根幹となります。Customer service is ...how a customer feels (ATTA = Adventure Travel Trade Association より)とも言われているように、クライアントが何を感じるのかを真剣に考え、マズローの5段階欲求における最下層から順に満たしていくことをしないと、快適で満足のいく体験は提供できません。クライアントの発する非言語情報（表情やしぐさなど）から感情を探ることも重要ですが、勘違いを避けるためにも単純に聞いてみることも試してみましょう。

### ◆文化によるホスピタリティの差

対象者理解そのものですが、文化、宗教の違い、同一宗教の中でも宗派や教義の違い、そこから派生する生活習慣の違い、モラル、ルール、食事、生活習慣等をよく理解した上でないと「おもてなし」は独りよがりになりかねません。例えば韓国ではお客さんへ通年で氷水を出すことがホスピタリティの一つですが、中国では通年でお茶や白湯を出すことがホスピタリティと考えられています。

### ◆クライアントの意向を叶える≡ホスピタリティ

対象者をよく理解できないままではホスピタリティは表面的なものとなってしまいます。またその表面的なホスピタリティのためにアウトドアアクティビティにおける安全を犠牲にすることがあってはいけません。リスクを伴うアクティビティでは「Dos and Don'ts」の周知自体がホスピタリティとなりますし、知らなかったがために生じてしまう事故やトラブル、またはクライアントが恥をかうことを防ぐことにもつながります。そのためにも事前に Proactive に周知すべきことをリスト化しておくことが、異文化間のトラブル予防につながります。ルールを設けて周知させることで問題は解決できました。

## 15 クレーム対応 (英語文化圏での一般的な対応方法)

優れたリーダーは苦情にもうまく対応します。ガイディングを長く続ければ、中には機嫌の悪いお客さんに当たってしまうこともあるでしょう。もしかしたら、たまたま機嫌が悪いのではなく、原因はツアーに由来するものかもしれません。では以下のような状況をイメージしてみましょう。ネット通販で最新のパソコンを注文したところ、封を開けてみると旧式のパソコンが入っており、怒り心頭でカスタマーサービスへ電話をかけました。しかしクレームで電話をかけたはずなのに10分後には、怒鳴りつけてしまってもうすまなかったと逆に謝ってしまいました。一体何が起ったのでしょうか？

### ◆ LAUGH メソッド

- Listen：最後まで聞き切る
- Acknowledge：問題があることを認める
- Understand：理解する（問題の根源／顧客の気持ち）
- Give Solution：解決策を提案する
- Hit Home：最後まで対応しきる：フォローアップ

おそらく、カスタマーサービスで対応された方は上記の LAUGH メソッドを活用していたのかもしれませんが。最初のポイントは聞きに徹することです。途中で口をはさんではいけません。そしてクライアントにとっての何かしらの問題があったことを認めましょう。次にその問題が何であるかを確認します。またクライアントがどのように感じたのかも正しく理解しましょう。通常、ここまでくればクライアントも落ち着きを取り戻している頃でしょう。その後、現実的な解決策を示してください。その場で改善できないようなこと、取り返しのつかないことであれば、更にフォローアップとして何かしらの形で補う必要があるでしょう。

## 16 リーダーのクオリティ

安全確保のためにクライアントをコントロールする時など、ガイドにはリーダーシップを求められる場面が多くあります。以下に示される各要素は、英語文化圏でリーダーシップを取る際に必要とされる素質です。ガイドにはこれらを持つことがクライアントから期待されており、またリーダーシップを取る際には実際に必要となります。理想的にはこれら全てを持つことが良いとされますが、そのほとんどは机上の知識で補えられるものではなく、獲得するには時間、経験、トレーニングが不可欠となります。国内でも北米式のリーダーシップのトレーニングを学べるセミナーなども開催されているので、必要な方は参加を検討してください。

### ◆キーワード

- Desire to lead (リーダーとしての決意)
- Patience (忍耐)
- Caring (他者を気にかけることのできる能力) ; looking after (面倒を見る)
- Organization (段取り)
- Competence (能力)
- Awareness (配慮)
- Management (管理能力)
- Communication (コミュニケーション) ; listening (傾聴) / counseling (意見を聞く)
- Trust (信頼)
- Hard working (勤勉)
- Sense of humor (ユーモアのセンス)
- Integrity (誠実さ)
- Confidence (自信)
- Decisiveness (潔さ)
- Efficiency (効率のよさ)
- Adaptiveness (適応)
- Environmental Awareness (環境への配慮)
- Responsibility (責任)
- Not being grumpy (落ち着いた性格)
- Strategic (戦略的)

ガイドには英語でのリーダーシップとリスクマネジメントも必要ですが、命にかかわる部分なのでミスコミュニケーションは許されません。リーダーとしての任務を果たせるかどうかは、ただ単に英単語を暗記しているだけの素人と、それを理解し使いこなせるプロとを二分するものであり、ガイドとしての真価が問われる部分です。それには日本語でのガイドとしての熟成と英語での円滑なコミュニケーションが欠かせず、これから英語ガイドを目指す人には、時間をかけたトレーニングが必要となるでしょう。



## 17 リーダーシップの種類

効果的なリーダーシップには、状況に応じて適宜リーダーシップの種類を微調整することが必要となります。下記の表から分かるように英語文化圏ではリーダーシップには Authoritative（厳然たる）と Democratic（民主的な）の2種類があり、それらを構成する5つの要素の強弱によってスペクトラムとして定義されます。

|                  |                               |
|------------------|-------------------------------|
| → Tell（命令）       | Authoritative（厳然たる）Leadership |
| → Sell（賛同を得る）    | ↑                             |
| → Consult（意見を聞く） | 変動                            |
| → Share（責任の分担）   | ↓                             |
| → Delegate（委任する） | Democratic（民主的な）Leadership    |

※出典：Yamnuska Mountain Skills Semester 2006

博物館のガイド、バスガイド、観光通訳ガイド、登山ガイドを比較した時、必要とされるリーダーシップの種類について、何か違いがあるか考えてみましょう。日本人の感覚からすると、どのシチュエーションにおいても民主的な方が良いと思う傾向がありますが、時と場合によっては民主的なリーダーシップは危険を招くこともあり得ます。

例えば登山ガイドが山の中腹で「皆さん、それでは山頂で会いましょう！」とグループを分散させてしまった場合はどうでしょうか？確かにリーダーシップは発揮してはいるが、間違ったリーダーシップを発揮している状況だと認識してください。「山は自己責任」とよく言いますが、このシチュエーションでは自己判断をクライアントに押し付けている状況、つまり各クライアントにリーダーシップの Delegation（委任）を行っていることとなります。

Delegation を行うには、委任される側の知識や技術がガイドと同じレベルであることが条件ですが、クライアントはガイドレベルの知識や技術がないからガイドを雇っているのです、ここでの Delegation は成り立ちません。法的に「引率者」には人々を安全へ向けて導く義務があるので、「山頂で会いましょう！」というガイディングは、引率責任を放棄していることとなります。登山のようにガイドの判断が求められるシチュエーションでは、Authoritative になることを躊躇しないようにしましょう。



## 18 インストラクション

英語圏の外国人を主な顧客として扱っていかうとする場合、ガイド育成に関しては既に体系化されている海外のアウトドアガイド資格に学ぶべきことが多く存在します。また特に英語圏におけるアウトドアガイド関連の資格は、英語圏のクライアントをガイドするためにデザインされた資格トレーニングである点も注目すべき点であります。うまく活用できれば英語文化圏のクライアントの扱い方を理解するきっかけともなります。ここではカナダにおけるACMGのガイド資格の考え方を紹介します。ガイド中にはアクティビティに必要なスキルや安全にかかわる考え方を、インストラクションを通じてクライアント全員へ教えることがあります。このように全てのクライアントに当てはまることを全体へ向けて教えることをインストラクションといいます。

### ◆ ACMG では、以下の形式のインストラクションを推奨しています。

“A successful guide is an insightful teacher, who has a variety of ways to teach a given task or lesson and is able to adjust to the needs and abilities of the clients. The guide should strive to master the material being taught and think of creative ways to present the lesson that involve the senses of seeing, hearing, and doing. It is helpful if the guide divides the lesson into a logical progression of basic skills so that the clients are actively involved and have the opportunity to practice.”

ガイドとして成功している人は、技術や課題を教えるための様々な手法を持ち、またクライアントのニーズと能力に応じ、その手法を調整できる、ひらめきを持つ先生です。ガイドは教材をものにする為の努力を続けるべきであり、視覚、聴覚そして体験を含むクリエイティブな方法を考えなければいけません。クライアントが積極的に学び、また練習する機会を持てるように、論理的に連続する基本的なスキルに課題を区切ると良いでしょう。

Structured lessons should include the following components (課題構成は以下の要素を含むべきです)

1. Discuss the goals. What will be covered and why (目標を話し合う；どういう理由で何を扱うのか)
2. Review previously learned prerequisite skills or techniques  
(ここまで条件として学んだスキル等の復習)
3. Illustrate (説明)
4. Teach: Break skills into major points and create demonstrations that clients can see, hear and touch  
(教える；教えるスキルを主要なポイントに分割し、クライアントが見て、聞いて、そして感じられる手本を示す)
5. Practice. Have clients carry out lesson with supervision and coaching (練習；クライアントが学んだ課題を、ガイドの観察と指導の下に実施させる)
6. Closure. Provide clients the opportunity to reflect on their learning before they have to apply the skills or techniques (総括；学んだスキルなどを実際に使う場面に遭遇する前に、クライアントが実践的に試すことのできる機会を設ける)

例えば上記の手順をMTB(マウンテンバイク)のダウンヒルに当てはめて考えてみましょう。下りで転ばないために体重移動が重要ですが、MTB特有の体重移動は経験したことがない人が多くいます。通常の乗り方だとサドルに座ったまま体重移動はカーブの際の左右への体重移動だけでしょう。しかしダウンヒルにおいては、下りはスタンディングポジションで、そして重心を低く保ち、また後ろへ体重移動することで、ギャップがあってもバランスを保つことができます。それらを説明し、また実際にどのように行うのかその見本を見せましょう。そのうえで、平地で重心移動の練習を行います。ゲレンデに行くまでの道中、練習に適した安全な範囲の坂があれば再度練習の機会を設けましょう。

## 19 コーチング

インストラクションが全体へ向けられるものであるのに対して、特定のクライアントだけに当てはまることを個別に指導する場合があります。これをコーチングと呼びます。Coachとは馬車を意味し、馬車は大切な人をその人が望むところまで送り届けるという意味があることから、コーチングは、人の目標達成を支援するという意味で使われるようになったようです。イメージとしては学習塾の個別指導や家庭教師をイメージすると分かりやすいかもしれません。ACMGでは以下のようにコーチングを説明しています。

“Often the guide provides instruction in the form of coaching without planning a lesson and addressing the whole group. These mini lessons are highly effective because they are personalized and highly relevant. They increase efficiency and decrease fatigue by improving clients' technique. It is important that the guide does not wait for clients to ask for help. The guide should consider coaching or offering tips whenever he/she observes inadequate technique, when difficult sections are encountered, or conditions changes.”

グループ全体ではなく個人に向けて、課題構成を伴わないコーチングの形式でのインストラクションも、ガイドは頻繁に行っています。これらの小さな課題は個別にカスタマイズされるため、適切であり、また高い効果を発揮します。ここで重要なことは、ガイドはクライアントから助けを求められるまで待ってはいけないということです。状況が悪化した時、難所、クライアントの技術がおぼつかない様子を目撃した場合には何時でも、コーチングやコツを伝えることを考えてください。



## 20 翻訳機「Voice Tra」は有効？

観光庁が2019年に訪日外国人に対して実施したアンケートでは「多言語表示コミュニケーションで困った際解決方法に使った方法」として、第1位は「自分のスマートフォン・タブレットの翻訳アプリで解決した」でした。しかしこれは、外国人が自ら解決方法を探ったことの結果であり、ガイドの言語的問題をスマートフォンで解決すればよいという話にはなりません。観光庁では旅行業関係の受け入れにおいて、スタッフなどへは政府が開発した「Voice Tra」という翻訳アプリの使用を勧めています。観光業においてこれを使いこなすには、以下の手順が求められます。

※出典：2019年観光庁 訪日外国人旅行者の受入環境整備における国内の多言語対応に関するアンケート

- ・アプリのダウンロード <<https://voicetra.nict.go.jp/>>
- ・正しく翻訳させるための話し方

普通の話し言葉では多くの誤訳が生じてしまいます。言葉の選び方などにより、訳の意味が本来の意味と異なることも多くあります。固有名詞などはシステムに登録がない場合、うまく訳すことができません。

- ・翻訳内容の確認と修正

翻訳した英文を、さらに日本語訳して画面に表示する機能がついています。この日本語をチェックすることで、訳が正しいかどうかの確認が可能です。また、日本語文章を修正することで、クライアントに見せる英文を修正することも可能です。

では、ダウンロードして実際に使ってみましょう。例えば、以下の文章を試しに訳してみましょ。 (政府開発のVoice Traは完全無料です。有料の類似品には注意してください。)

- 石を避けてください。
- 道に迷い、えらかった。
- 履いてください。
- 踏み入らないでください。
- お土産にぜひ。



あなたの話した日本語は正しく認識されたでしょうか？またその日本語は正しく翻訳されているでしょうか？逆翻訳機能で、英文がさらに日本語訳されるので、そこを見れば誤訳があるかないかが分かります。上記の例題を翻訳機にかけてみると誤訳が生じているようです。観光業、特にホテルなどでは時間的余裕があるので、ゆっくりと誤訳修正を行えば良いでしょう。しかしこれが雨の吹き付ける稜線上では、そのような余裕はありません。つまり、ガイド業ではコミュニケーション(=リスク管理)の第1選択肢にはできないことを意味します。

翻訳機はネットを介すことで膨大な情報量をさばき瞬時に翻訳をしてくれます。しかしこれはあなたのスマートフォンの電池に余裕があり、またネット環境にいる時にしか使えないオプションです。また上記のようなあいまいな日本語や方言などを使ってしまった場合には誤訳が生じるため、もしもこれが注意喚起のとっさの一言であった場合には、まさに命取りとなるでしょう。そもそも緊急時の「とっさ」の一言に、アプリを立ち上げている暇はありません。休日に、ガイド中のこんな時にはどのように英語で表現をすればよいか？と疑問に思った表現があれば、そのヒントを与えてくれるのが翻訳機です。普段の勉強のお供として活用してください。

## 参考：ガイディングに役立つ英単語

※単語はほんの一例です。北海道の固有種はとて多く多様性に富んでいます。各々のフィールドに存在する単語を辞書などで調べましょう。

| 日本語                           | 英語                    |
|-------------------------------|-----------------------|
| Geology (地質学)・Geography (地理学) |                       |
| マントル                          | mantle                |
| 地殻                            | plate / earth's crust |
| 大陸棚                           | continental shelf     |
| 土                             | soil                  |
| 有機土壌                          | organic soil          |
| 砂地                            | sandy soil            |
| 砂丘                            | dune                  |
| 地質                            | geology               |
| 岩石                            | rock                  |
| 石の組成                          | rock formation        |
| 化石                            | fossils               |
| 磁気を帯びた岩                       | magnetic rock         |
| 鉱物                            | minerals              |
| 鉱石                            | ore                   |
| 鉄                             | iron                  |
| 金                             | gold                  |
| 銀                             | silver                |
| 銅                             | copper                |
| 亜鉛                            | lead                  |
| ケイ素                           | silica                |
| 硫黄                            | sulfur                |
| 山の岩石 (火山岩・堆積岩・変成岩)            | rock formation        |
| 火成岩 (火山岩・半深成岩・深成岩)            | Igneous rock          |
| 火山岩                           | volcanic rock         |
| 黒曜石                           | obsidian              |
| 安山岩                           | andesite              |
| 玄武岩                           | basalt                |
| 半深成岩                          | hypabyssal rock       |
| 深成岩                           | plutonic rock         |
| 花崗岩                           | granite               |
| 堆積岩                           | sedimentary rock      |
| 泥岩                            | mudstone              |
| 砂岩                            | sandstone             |
| 石灰岩                           | limestone             |
| 変成岩                           | metamorphic rock      |
| 石灰岩台地                         | limestone plateau     |
| 石炭                            | coal                  |
| 自然風景                          | natural landscape     |
| 地質形成                          | land formation        |
| 地層                            | stratum               |
| 堆積作用                          | sedimentation         |
| 地層のずれ                         | stratum deformation   |
| 断層                            | fault                 |
| 火山                            | volcano               |
| 休眠火山                          | dormant volcano       |
| 活火山                           | active volcano        |
| 死火山                           | extinct volcano       |
| 火山列島                          | volcanic archipelago  |
| 噴火                            | eruption              |
| 成層火山                          | stratovolcano         |
| 火砕流                           | pyroclastic flow      |
| 火山灰                           | volcanic Ash          |

| 日本語                       | 英語                         |
|---------------------------|----------------------------|
| スコリア                      | scoria                     |
| 溶岩                        | lava                       |
| 噴火口                       | crater                     |
| カルデラ                      | caldera                    |
| カルデラ湖                     | crater lake                |
| 溶岩洞窟                      | lava cave                  |
| 堰止湖                       | dammed lake                |
| 平原                        | plain                      |
| 高原                        | high plateau               |
| 丘陵地                       | hilly area                 |
| 草原                        | grass land                 |
| 鍾乳洞                       | limestone cave             |
| 水の供給                      | water supply               |
| 水が浸み込むこと                  | infiltration               |
| 湿原                        | wetland / bog              |
| 低地                        | low ground                 |
| 高層湿原                      | high moor                  |
| 山地                        | mountain terrain           |
| 山脈                        | mountains / mountain range |
| 大山脈                       | cordillera                 |
| 褶曲山脈                      | fold mountains             |
| 隆起した海底                    | raised seafloor            |
| 堆積層                       | layer of sediment          |
| 沈下・沈降                     | submersion                 |
| 浸食                        | erosion / weathering       |
| 沈水海岸                      | downed coast               |
| 海峡                        | strait                     |
| 半島                        | peninsula                  |
| 群島                        | archipelago                |
| 岬                         | cape                       |
| 入り江                       | inlet                      |
| 広い河口                      | estuary                    |
| 浅瀬                        | ford                       |
| 潟                         | lagoon                     |
| 陸繋島                       | tombolo                    |
| 砂州                        | sand bar                   |
| Climate / Weather (気候・気象) |                            |
| 冷帯気象 (亜寒帯)                | subarctic climate          |
| 太平洋気候                     | pacific coast climate      |
| 日本海式気候                    | Japan sea coast climate    |
| 多雨                        | high rainfall              |
| 高温多湿                      | hot and humid              |
| 内陸性気候                     | inland climate             |
| 降雨                        | precipitation              |
| 多雨                        | high rainfall              |
| 降水量が少ない                   | low precipitation          |
| 日照時間                      | daylight hours             |
| 比較的温暖                     | relatively mild            |
| 北西季節風                     | northwest seasonal wind    |
| からっかぜ                     | strong dry wind            |
| フェーン現象                    | foehn phenomenon           |
| 対流                        | convection                 |
| 硬水                        | hard water                 |
| 軟水                        | soft water                 |



| 日本語  | 英語                                |
|--|-----------------------------------|
| 雨  | rain                              |
| にわか雨   | shower                            |
| 梅雨   | rainy season                      |
| 土砂降り   | pouring rain                      |
| 霧雨   | drizzle                           |
| 雹（ひょう）   | hail                              |
| 樹氷   | trees covered with hoary frost    |
| 体感温度（風速冷却）   | sensible temperature (wind chill) |
| 濃霧   | dense fog                         |
| 流氷   | ice drift                         |
| 寒さの厳しい日が続く   | a long spell of cold winter       |
| 冷害   | cold-weather damage               |
| 雪  | snow                              |
| Environmental Issues (環境問題) & Natural Hazards (自然災害) |                                   |
| 森林伐採   | deforestation                     |
| 砂漠化  | desertification                   |
| 地球温暖化  | global warming                    |
| 温室効果   | greenhouse effect                 |
| 温室効果ガス   | greenhouse gasses                 |
| 水蒸気  | water vapor                       |
| 二酸化炭素  | carbon dioxide                    |
| オゾン  | ozone                             |
| メタン  | methane                           |
| 水質汚染   | water pollution                   |
| 土壌汚染   | soil contamination                |
| 海洋汚染   | marine pollution                  |
| 大気汚染   | air pollution                     |
| がけ崩れ   | landslide                         |
| 雪崩   | avalanche                         |
| 落石   | rock fall                         |
| ハリケーン  | hurricane                         |
| 嵐  | storm                             |
| 台風   | typhoon                           |
| 干ばつ  | drought                           |
| 洪水   | flooding                          |
| 熱波   | heat wave                         |
| 吹雪   | blizzard                          |
| 突風   | blast of wind / gust of wind      |
| ゲリラ豪雨  | sudden down pour                  |
| 津波   | tsunami                           |
| 高潮   | high tides                        |
| 地震   | earthquake                        |
| Atmosphere (大気圏)                                     |                                   |
| 大気圏  | atmosphere                        |
| 対流圏  | troposphere                       |
| 成層圏（オゾン層）  | stratosphere                      |
| 中間圏（電離層）   | mesosphere                        |
| 熱圏（電離層）  | thermosphere                      |
| 放射冷却   | radiative Cooling                 |
| 天気   | weather                           |
| 気候   | climate                           |
| 大気圧  | atmospheric pressure              |
| 偏西風  | westerlies                        |
| 湿度   | humidity                          |
| 露天   | dew point                         |
| 飽和   | saturation                        |
| 地形性の降水   | orographic precipitation          |

| 日本語                              | 英語   |
|----------------------------------|--|
| 風上側                              | windward side  |
| 風下側                              | leeward side   |
| しゃ（遮）雨域                          | rain shadow  |
| 前線性降雨                            | frontal Precipitation                                  |
| 寒冷前線                             | cold front   |
| 積雲                               | cumulus clouds   |
| 温暖前線                             | warm front   |
| 層雲                               | stratus  |
| 停滞前線                             | stationary front                                       |
| 太陽光エネルギー                         | solar energy   |
| 地軸の傾き                            | inclination of Earth's axis                            |
| 春分                               | vernal equinox   |
| 夏至                               | summer solstice  |
| 秋分                               | autumnal equinox                                       |
| 冬至                               | winter solstice  |
| 経度                               | longitude  |
| タイムゾーン                           | time zone  |
| 緯度                               | latitude   |
| 赤道                               | equator  |
| Topographic Map (地形図)            |  |
| 登山地図                             | hiking map   |
| 地形                               | land features  |
| 複雑な地形                            | complex topograph                                      |
| 地勢                               | lay of land / Topography                               |
| 標高                               | elevation  |
| 等高線                              | contour line   |
| 方位                               | direction  |
| 偏差                               | decrination  |
| 自然堤防                             | natural levee  |
| 山頂                               | peak / summit  |
| 鞍部                               | col  |
| 峠                                | (mountain) pass  |
| 雪庇                               | cornice  |
| 凸面                               | convex   |
| 凹面                               | concave  |
| 盆地・(河川の) 流域                      | basin  |
| くぼ地                              | hollow   |
| 断崖絶壁                             | sheer cliff  |
| 尾根                               | ridge / the spine of amountain / arete                 |
| 岸壁（バットレス）                        | buttress   |
| 渓谷                               | canyon / valley / gullies / gorge / ravine             |
| 斜面                               | slope / hill   |
| ガレ場                              | scree slope / loose rock / accumulation of small rocks |
| 一枚岩                              | monolith   |
| スラブ                              | slab   |
| 岩棚                               | ledge  |
| 岩屑（がんせつ：砕かれた石）                   | debris; talus > scree                                  |
| 崖錐（がいすい；急崖や急斜面の崖下に形成される円錐状の堆積地形） | talus slope / scree slope                              |
| 階段状地形                            | terrace  |
| 草の生えた斜面                          | vegetated slope  |
| ぬかるんだ                            | muddy  |
| 人工物                              | cultural landscape                                     |
| 登山道                              | trail / route  |

| 日本語   | 英語   |
|---|--|
| 橋   | bridge   |
| 堰堤／ダム   | dam  |
| 堤防  | levee  |
| 登山道   | hiking trail   |
| 手すり   | hand rail  |
| 送電線   | power line   |
| 電線  | electric wire  |
| 水力発電所   | hydroelectric power plant  |
| 水道管   | water pipe   |
| 鉱山  | mine   |
| 山小屋   | mountain hut   |
| 避難小屋  | shelter / Hut  |
| 野外トイレ   | outhouse / toilet  |
| 東屋  | arbor  |
| 水場  | spring   |
| テシ場   | designated camping ground  |
| ビシターセンター  | visitor centre / information center                                |
| 祠   | small shrine   |
| 山城  | mountain castle  |
| 登山届け  | hiking registration form   |
| 国立公園  | national park  |
| 国定公園  | quasi-national park  |
| 私有地   | private property   |
| 立ち入り禁止  | no trespassing   |
| 地下水   | ground water   |
| 流域  | drainage basin   |
| 地下水面  | water table  |
| 氾濫原   | flood plain  |
| 扇状地   | alluvial fan   |
| 蛇行  | meander  |
| 川 (大⇒小)   | river > stream > brook > creek                                     |
| 清流  | limpid stream  |
| 滝   | fall / cascade (小さい滝)  |
| 河口  | mouth of river   |
| 氷河  | glacier  |
| 土手  | river bank   |
| 湖   | lake   |
| 池   | pond   |
| 沼   | bog / moor / mash land   |
| 低湿地   | swamp  |
| ラムサール条約   | the Ramsar Convention  |
| 渦潮  | whirling current   |
| 温泉  | hot spring   |
| 間欠泉   | geyser / intermittent spring                                       |
| Mountain Culture/<br>Religious Practices (山岳文化・宗教的慣行) |  |
| 初日の出  | the sunrise on New Year's Day                                      |
| ご来光   | sunrise viewed from the top of a high mountain                     |
| 山岳信仰  | mountain worship   |
| 講   | religious association  |
| 修験道   | mountaineering asceticism  |
| 山伏  | mountain ascetics  |
| 霊山  | sacred mountain  |
| 霊廟  | mausoleums   |
| 神道  | Shinto 内容: 自然崇拜 animism と先祖崇拜 ancestor worship からうまれ 経典 script はなし |

| 日本語                     | 英語  |
|-------------------------|---|
| 神社                      | shrine  |
| 奥宮                      | inner shrine  |
| しめ縄                     | sacred rice straw rope for warding off evils                                      |
| 八百万の神々                  | multitudinous gods  |
| 道祖神                     | a travelers' guardian deity   |
| 氏神                      | guardian deity  |
| 仏教                      | Buddhism  |
| 寺                       | temple  |
| お盆                      | Buddhis midsummer festivals to welcome the souls of the dead                      |
| お彼岸                     | Buddhist services performed during the equinoctial week                           |
| 除夜の鐘                    | temple bells speeding the old year  |
| 風水                      | feng-shui   |
| 鬼門                      | demon's gate  |
| Art & Culture (芸術・文化)   |   |
| 絵画                      | picture   |
| 彫刻                      | sculpture   |
| 書道                      | the art of calligraphy  |
| 建築                      | architecture  |
| 工芸                      | craftwork   |
| 造形芸術                    | figurative arts   |
| 仏像                      | Buddhist image (statue)   |
| 寺社仏閣                    | shrines and temples   |
| 仏教文化                    | Buddhist culture  |
| 仏教寺院                    | Buddhis temple  |
| 権現造                     | style of architecture in which outer and inner shrines are joined by a paved room |
| 本堂                      | the main hall of a Buddha temple  |
| 御本尊                     | the principal image   |
| 講堂                      | lecture hall  |
| 曼荼羅                     | mandala   |
| 書院作り                    | traditional Japanese style of residential architecture                            |
| 日本庭園                    | Japanese garden   |
| 茶道                      | the way of tea / the art of tea   |
| 茶の湯                     | the tea ceremony  |
| 侘び                      | austere refinement  |
| 寂び                      | deep mysterious beauty  |
| 侘び寂び                    | ustere and elegant simplicity   |
| 幽玄                      | the subtle and profound   |
| 華道                      | the art of flower arrangement   |
| 生け花                     | the Japanese art of floral arrangement / bringing flowers to life                 |
| 水墨画                     | ink painting  |
| 浮世絵                     | Japanese woodblock print  |
| 枯山水                     | dry garden style  |
| Flora and Fauna (動植物概要) |   |
| 生物多様性                   | biodiversity  |
| 共生                      | symbiosis   |
| 弱肉強食                    | survival of the fittest   |
| 遷移                      | succession  |
| 極相                      | climax community  |
| 動物相                     | fauna   |
| 動物                      | animals   |
| 脊椎動物                    | vertebrate  |
| 哺乳類                     | mammal  |
| 鳥類                      | birds   |
| 両生類                     | amphibian   |

| 日本語           | 英語                                   |
|---------------|--------------------------------------|
| 爬虫類           | reptile                              |
| 魚類            | fishes                               |
| 無脊椎動物         | invertebrate                         |
| 節足動物          | arthropods                           |
| 甲殻類           | crustacea                            |
| 昆虫            | insects                              |
| 貝類            | shellfish                            |
| 植物学           | botany                               |
| 植物相           | flora                                |
| 光合成           | photosynthesis                       |
| 植物            | plants                               |
| 常緑樹           | evergreens                           |
| 針葉樹           | conifers                             |
| ツンドラ          | tundra                               |
| 広葉樹           | broad leaved tree                    |
| 落葉樹           | deciduous trees                      |
| シダ            | fern                                 |
| コケ類           | mosses                               |
| ゼニゴケ          | liverwort                            |
| 菌類            | fungi (Fungus)                       |
| 共生            | symbiosis                            |
| 共生体           | symbiotic association                |
| 菌根菌           | mycorrhizal fungi                    |
| 地衣類           | lichens                              |
| サルオガセ         | old-man's beard                      |
| 藻・海草          | algae                                |
| エコシステム        | ecosystem                            |
| 生産者           | producer                             |
| 分解者           | decomposers                          |
| 草食動物          | herbivores                           |
| 偶蹄類           | hoofed Mammals                       |
| 捕食動物          | predators                            |
| 肉食動物          | carnivores                           |
| 雑食性動物         | omnivore                             |
| 猛禽類           | raptor                               |
| Mammals (哺乳類) |                                      |
| シカ (オス)       | stag                                 |
| エゾシカ          | Yezo deer / Hokkaido Sika deer       |
| ヒグマ           | brown bear<br>(北米の Grizzly bear に近い) |
| エゾヒグマ         | Ezo brown bear                       |
| イタチ           | weasel                               |
| ハクビシン         | masked palm civet                    |
| テン            | marten / Japanese sable              |
| エゾクロテン        | Sable                                |
| オコジョ          | ermine                               |
| カワウソ          | otter                                |
| エゾリス          | Hokkaido red squirrel                |
| モモンガ          | Eurasian flying squirrel             |
| エゾモモンガ        | Eurasian small flying squirrel       |
| イヌ            | canine                               |
| タヌキ           | raccoon dog                          |
| キツネ           | fox                                  |
| キタキツネ         | Ezo red fox                          |
| ニホンオオカミ (絶滅)  | Japanese wolf                        |
| ノウサギ          | hare                                 |
| ナキウサギ         | Pika                                 |

| 日本語                           | 英語                                |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| コウモリ                          | bat                               |
| アザラシ                          | seal                              |
| イルカ                           | dolphin                           |
| クジラ                           | whale                             |
| Insects (昆虫類)                 |                                   |
| チョウ                           | butterfly                         |
| ガ                             | moth                              |
| セミ                            | cicada                            |
| コオロギ                          | cricket                           |
| ホタル                           | firefly                           |
| クワガタ                          | stag beetle                       |
| カブトムシ                         | Japanese rhinoceros beetle        |
| カメムシ                          | stinkbug                          |
| ザトウムシ                         | harvestman                        |
| クモ                            | spider                            |
| シャクトリムシ                       | inchworm                          |
| ケムシ                           | hairy caterpillar                 |
| イモムシ                          | caterpillar                       |
| ミミズ                           | earthworm                         |
| ヒル                            | leech                             |
| マダニ                           | hard tick                         |
| シラミ                           | louse / 複数形: lice                 |
| 蚊                             | mosquito                          |
| ハエ / コバエ                      | fly / a fruit fly                 |
| アリ                            | ant                               |
| ミツバチ                          | honey bee                         |
| スズメバチ                         | hornet / a wasp / a yellow jacket |
| オオスズメバチ                       | Japanese giant hornet             |
| ハチの巣                          | beehive                           |
| トンボ                           | dragonfly                         |
| アキアカネ                         | red dragonfly                     |
| Amphibian & Reptile (両生類・爬虫類) |                                   |
| イモリ                           | newt                              |
| ヤモリ                           | gecko / wall lizard               |
| サンショウウオ                       | salamander                        |
| アマガエル                         | tree frog                         |
| ヒキガエル / ガマガエル                 | toad                              |
| トカゲ                           | lizard                            |
| 海ガメ                           | turtle                            |
| 陸ガメ (総称)                      | tortoise                          |
| スッポン                          | soft-shelled turtle               |
| アオダイショウ                       | japanese ratsnake                 |
| クサリヘビ科                        | viperidae                         |
| マムシ                           | pit viper / mamushi               |
| Ocean (海洋)                    |                                   |
| 日本海                           | sea of Japan                      |
| 対馬海流                          | the Tsushima current              |
| 暖流                            | warm current                      |
| 豪雪地帯                          | heavy snowfall areas              |
| 太平洋側                          | pacific ocean side                |
| 黒潮 (日本海流)                     | the Kuroshio current              |
| 親潮 (千島海流)                     | the Oyashio current               |
| 寒流                            | cold current                      |
| 水産物                           | sea foods                         |
| 沖合漁業                          | offshore fishing                  |
| 真珠と牡蠣の養殖                      | pearl and oyster culture          |

| 日本語                   | 英語                                   |
|-----------------------|--------------------------------------|
| 牡蠣と海苔の養殖              | oyster and laver culture             |
| 金魚やコイの養殖              | aquaculture of goldfish and carp     |
| マグロの水揚げ               | tuna landing                         |
| 沿岸漁業                  | coastal fishing                      |
| 水産業                   | the fishing industry                 |
| 好漁場                   | great fishing ground                 |
| 漁港                    | fishing port                         |
| 漁獲高                   | catch                                |
| 漁業                    | fishery                              |
| 海の汚染                  | marine contamination                 |
| 赤潮                    | red tide                             |
| 水産加工業                 | the marine processing industry       |
| 200 海里経済水域            | the 200 nautical miles economic zone |
| marine products (海産物) |                                      |
| 甲殻類 (海)               | crustacean                           |
| シャコ                   | mantis shrimp                        |
| カニ                    | crab                                 |
| タラバガニ                 | king crab                            |
| ズワイガニ                 | snow crab                            |
| ケガニ                   | hairy crab                           |
| ヤドカリ                  | hermit crab                          |
| 貝類                    | shellfish                            |
| アサリ                   | short-necked clam                    |
| カキ                    | oyster                               |
| アワビ                   | abalone                              |
| ホタテ                   | scallop                              |
| ウニ                    | sea urchin                           |
| イカ                    | squid                                |
| タコ                    | octopus                              |
| クラゲ                   | jellyfish                            |
| ヒトデ                   | starfish                             |
| ナマコ                   | trepane, sea cucumber                |
| イソギンチャク               | sea anemone                          |
| サンゴ                   | coral (coral reef)                   |
| フジツボ                  | barnacle                             |
| 海藻                    | sea vegetable                        |
| ワカメ                   | wakame seaweed                       |
| コンブ                   | kelp                                 |
| 海水魚                   | a saltwater fish                     |
| トラフグ                  | torafugu, tiger puffer               |
| ハリセンボン                | balloonfish, porcupine fish          |
| フグ                    | blowfish                             |
| イワシ                   | sardine                              |
| シャケ                   | salmon                               |
| イクラ                   | salmon roe                           |
| タイ                    | sea bream                            |
| カツオ                   | bonito                               |
| マグロ                   | tuna                                 |
| ハマチ                   | young yellow tail                    |
| ブリ                    | adult yellow tail                    |
| サバ                    | mackerel                             |
| アジ                    | horse mackerel                       |
| カレイ、ヒラメ               | flatfish (flounder)                  |
| ハゼ                    | goby                                 |
| タラ                    | cod                                  |
| タラコ                   | cod roe                              |
| ニシン                   | herring                              |

| 日本語            | 英語                                |
|----------------|-----------------------------------|
| かずのこ           | herring roe                       |
| ホッケ            | arabesque greenling               |
| サンマ            | saury                             |
| カジキ            | spearfish, swordfish              |
| カンパチ           | greater amberjack                 |
| アンコウ           | anglerfish                        |
| シシャモ           | shishamo smelt                    |
| トビウオ           | flying fish                       |
| アナゴ            | conger, conger eel                |
| エイ             | ray, skate (fish)                 |
| シャチ            | killer whale, grampus             |
| サメ             | shark                             |
| 淡水魚            | freshwater fish                   |
| メダカ            | killifish                         |
| カワマス           | brook trout                       |
| ヒメマス           | kokanee                           |
| アユ             | sweetfish                         |
| イワナ            | Japanese Char                     |
| オシヨロコマ         | Dolly Varden                      |
| コイ             | carp                              |
| フナ             | crucian                           |
| ドジョウ           | loach                             |
| ナマズ            | catfish                           |
| イトウ            | Japanese huchen / Sakhalin taimen |
| マス             | Trout                             |
| サケ             | salmon                            |
| ヤマメ            | landlocked salmon                 |
| メダカ            | Japanese killifish                |
| ワカサギ           | Japanese pond smelt               |
| 甲殻類 (淡水)       |                                   |
| ニホンザリガニ        | Japanese crayfish                 |
| タニシ            | pond snail                        |
| シジミ            | freshwater clam                   |
| Birds (野鳥)     |                                   |
| 猛禽類            | Raptors                           |
| ワシ             | eagle                             |
| オジロワシ          | white-tailed eagle                |
| オオワシ           | Steller's sea eagle               |
| トンビ            | black kite                        |
| ハヤブサ           | falcon                            |
| タカ             | hawk                              |
| ミサゴ (魚食性のタカ)   | osprey                            |
| タンチョウ          | Red-crowned crane                 |
| フクロウ           | owl                               |
| シマフクロウ         | Blakiston's fish owl              |
| ミミズク           | horned owl                        |
| ウグイス           | Japanese bush warbler             |
| キセキレイ          | grey wagtail                      |
| ホトトギス          | little cuckoo                     |
| ツツドリ           | Himalayan cuckoo                  |
| カッコウ           | common cuckoo                     |
| ウン             | bullfinch                         |
| メボソムシクイ (ヒタキ科) | arctic warbler                    |
| オオルリ (ヒタキ科)    | blue-and-white flycatcher         |
| キビタキ (ヒタキ科)    | narcissus flycatcher              |
| ノビタキ (ヒタキ科)    | stonechat                         |

| 日本語               | 英語                                     |
|-------------------|--|
| ルリビタキ (ヒタキ科)      | red-flanked bluetail                   |
| アカゲラ (キツツキ科)      | great spotted woodpecker               |
| コゲラ (キツツキ科)       | pigmy woodpecker                       |
| スズメ               | tree sparrow                           |
| ヒバリ               | skylark                                |
| イワヒバリ (スズメ目)      | alpine accentor                        |
| シジュウカラ (スズメ目)     | great tit                              |
| ヒガラ (シジュウカラ科)     | coal tit                               |
| コガラ (シジュウカラ科)     | willow tit                             |
| ゴジュウカラ            | eurasian nuthatch                      |
| シマエナガ             | Long-tailed Tit                        |
| ミンサザイ             | wren                                   |
| キジ                | common pheasant                        |
| キジバト              | oriental turtle dove                   |
| エトビリカ             | Tufted puffin                          |
| カワガラス             | brown bipper                           |
| ホシガラス             | spotted nutcracker                     |
| アオジ (ホオジロ科)       | black-faced bunting                    |
| イワツバメ             | asian housemartin                      |
| コマドリ              | Japanese robin                         |
| オシドリ              | mandarin duck                          |
| ミコアイサ             | smew                                   |
| キンクロハジロ           | tufted duck                            |
| ホシハジロ             | pochard                                |
| マガモ               | mallard                                |
| ライチョウ             | ptarmigan / a snow grouse              |
| <b>Trees (樹木)</b> |  |
| モミ                | fir                                    |
| トウヒ               | spruce                                 |
| イチイ               | yew                                    |
| スギ                | Japanese Cedar                         |
| イトスギ              | cypress                                |
| ダケカンバ             | Erman's birch / gold birch             |
| シラカバ              | birch / white birch / silver birch     |
| ヤナギ               | willow                                 |
| クリ                | Japanese chestnut                      |
| ナラ                | oak                                    |
| カシワ               | Japanese emperor oak                   |
| カシ                | evergreen oak tree                     |
| カツラ               | Japanese Judas tree                    |
| ポプラ               | poplar / an aspen / a cottonwood       |
| ハンノキ              | Japanese alder                         |
| カエデ               | maple                                  |
| カラマツ              | larch / tamarack                       |
| サクラ               | cherry tree                            |
| クルミ               | walnut                                 |
| ハイマツ              | dwarf stone pine / Japanese stone pine |
| アカシア              | acacia                                 |
| ウメ                | plum tree                              |
| ニレ                | elm tree                               |
| トチ                | horse chestnut                         |
| ブナ                | beech                                  |
| ヤナギ               | willow                                 |
| ナナカマド             | mountain-ash                           |
| マツ                | pine                                   |

| 日本語                        | 英語  |
|----------------------------|---|
| マツボックリ                     | pine cone   |
| 切株                         | stump   |
| 液果                         | berry   |
| 木                          | wood / tree   |
| 枝                          | twig / branch   |
| 大枝                         | limb / bough  |
| 小枝                         | stick   |
| 梢                          | treetop   |
| 林冠                         | canopy  |
| 幹                          | trunk   |
| 芽                          | bud / shoot / sprout  |
| 木材                         | wood / lumber / timber  |
| 種子                         | seed  |
| 根                          | root  |
| 葉                          | leaf / needle / foliage   |
| 宿り木                        | mistletoe   |
| 牧草                         | grass / pasture   |
| 穂                          | ear   |
| 稲穂                         | ear of rice   |
| サヤ                         | pod   |
| 芝・芝生                       | lawn  |
| 蜜                          | honeydew / nectar   |
| はちみつ                       | honey   |
| <b>Flower・Plant (花・植物)</b> |   |
| ヒヤシンス                      | hyacinth  |
| ヒマワリ                       | sunflower   |
| フキノトウ                      | butterbur scape   |
| フクジュソウ                     | pheasant's eye  |
| フジ                         | wisteria  |
| アサガオ                       | morning glory   |
| アザミ                        | thistle   |
| アシ                         | reed  |
| アジサイ                       | hydrangea   |
| アヤメ                        | Siberian iris   |
| ハナショウブ                     | Japanese iris   |
| ダイコンソウ                     | avens   |
| チョウノスケソウ                   | mountain avens  |
| チングルマ                      | Aleutian avens  |
| キンポウゲ                      | buttercup   |
| ハクサンイチゲ                    | (学名) Anemone narcissiflora; a type of an anemone in the genus Anemone and the buttercup family. |
| シナノキンバイ                    | globe flower  |
| シロバナエンレイソウ (シュロソウ科)        | trillium tschonoskii  |
| クロッカス                      | crocus  |
| シロツメクサ / クローバー             | clover  |
| ツメクサ                       | Japanese pearlwort  |
| ケシ                         | poppy   |
| サクラソウ                      | primrose  |
| クリンソウ                      | Japanese primrose   |
| マツヨイグサ                     | evening primrose  |
| キク                         | chrysanthemum   |
| オオハンゴンソウ                   | cut-leaved coneflower   |
| ヒヨドリ                       | boneset   |
| キオン                        | alpine ragwort (the composite family)   |
| スイセン                       | narcissus   |



| 日本語                   | 英語   |
|-----------------------|--|
| スイレン                  | water lily   |
| オトギリソウ                | hypericum  |
| トモエソウ                 | great St. John's wort  |
| ハス                    | lotus  |
| スズラン                  | lily of the valley   |
| ショウジョウバカマ             | an oriental swamp pink / a flower belong to the lily family                |
| イワカガミ                 | a fringe bell / a fringed galax / a flower belongs to the diapensia family |
| イワウメ                  | diapensia  |
| ツツジ                   | azalea   |
| シャクナゲ                 | rhododendron   |
| ツガザクラ                 | mountain heath   |
| アオノツガザクラ              | Aleutian mountain heath  |
| イワヒゲ                  | clubmoss mountain heather  |
| スマレ                   | violet   |
| キバナノコマノツメ<br>(黄花の駒の爪) | twoflower violet   |
| カタクリ                  | katakuri / dog's tooth violet  |
| ハクサンフウロ               | cranesbill   |
| タンポポ                  | dandelion  |
| ツクシ                   | horsetail  |
| テッセン                  | clematis   |
| クルマユリ                 | wood lily  |
| オダマキ                  | columbine  |
| トリカブト                 | aconite  |
| ナデシコ                  | pink   |
| ノイチゴ                  | wild strawberry  |
| ヘビイチゴ                 | false strawberry   |
| ベニバナイチゴ               | Japanese indigenous species of a wild strawberry with red flowers          |
| ハマナス                  | rose hip   |
| ノバラ                   | wild rose  |
| コケモモ                  | bearberry / cowberry   |
| シモツケ                  | Japanese spiraea   |
| ヒナギク                  | daisy  |
| ウサギギク                 | arnica   |
| ハタザオ属                 | the genus Arabis   |
| タデ                    | knotweed / knot-grass  |
| イブキトラノオ               | bistort / snakeweed  |
| ヒナゲシ                  | corn poppy   |
| ホウセンカ                 | touch-me-not   |
| ワスレナグサ                | forget-me-not  |
| ハハコグサ                 | cottonweed   |
| ボタン                   | peony  |
| モクレン・コブシ              | magnolia   |
| ユキワリソウ                | hepatica   |
| ユキノシタ                 | saxifrage  |
| コマクサ                  | dicentra   |
| ラン                    | orchid   |
| ハクサンチドリ               | keyflower  |
| ウメバチソウ                | fringed grass-of-parnassus   |
| リンドウ                  | gentian  |
| キキョウ科                 | the bellflower family  |
| キキョウ                  | bellflower / balloon flower  |
| ホタルブクロ<br>(ツリガネソウ)    | spotted bellflower (campanula)   |
| 桜                     | cherry blossom   |
| ワタスゲ                  | cotton grass   |

| 日本語                               | 英語  |
|-----------------------------------|---|
| カラマツソウ                            | meadow rue  |
| ズミ                                | toringo crab apple  |
| クガイソウ<br>(ゴマノハグサ科)                | figwort   |
| シシウド                              | caw parsnip   |
| キリンソウ                             | goldenrod   |
| オオカメノキ<br>(レンブクソウ科)               | viburnum furcatum   |
| ワレモコウ                             | great burnet  |
| ウツギ                               | deutzia   |
| ギンリョウソウ<br>(ユウレイタケ)               | monotropastrum humile<br>(mycorrhizal associations を通じ菌糸類 fungi との symbiosis によって生きている) |
| クガイソウ<br>(オオバコ科)                  | veronicastrum japonicum   |
| ラシュウモンカズラ<br>(シソ科)                | meehania urticifolia  |
| バイカモ                              | Japanese water crowfoot / water buttercup   |
| バイケイソウ (ユリ科)                      | white false hellebore   |
| ニッコウキスゲ<br>(ユリ科) /<br>禅庭花 (ゼンテイカ) | broad Dwarf day lily  |
| カズラ (ツルの総称)                       | vine  |
| 樹液                                | sap   |
| 花粉                                | pollen  |
| おしべ                               | stamen  |
| めしべ                               | pistil  |
| 開花                                | flowering   |
| 莖                                 | stem / stalk  |
| 草                                 | grass / plant   |
| 雑草                                | weed  |
| 球根                                | bulb  |
| 果物                                | fruit   |
| どんぐり                              | acorn   |
| 松ぼっくり                             | pine cone   |
| 苗                                 | seedling  |
| つぼみ                               | bud   |
| つる                                | vine  |
| つる植物                              | creeper   |
| とげ                                | thorn / spine / prickle   |
| 花                                 | bloom / flower / blossom  |
| 花びら                               | petal   |
| Agricultural Products (農産物)       |   |
| いちじく                              | fig   |
| カブ                                | turnip  |
| カラシナ                              | mustard   |
| なす                                | eggplant  |
| ピーマン                              | green pepper  |
| きゅうり                              | cucumber  |
| レタス                               | lettuce   |
| セロリ                               | celery  |
| 白菜                                | Chinese cabbage   |
| キャベツ                              | cabbage   |
| 穀物・穀類                             | grain   |
| 昆布                                | kelp  |
| 海藻                                | seaweed   |
| 海苔 (のり)                           | laver   |
| きのこ                               | fungus / mushroom   |
| そらまめ                              | broad bean  |

| 日本語     | 英語                         |
|---------|----------------------------|
| ブロッコリー  | broccoli                   |
| ほうれん草   | spinach                    |
| 二十日大根   | radish                     |
| ダイコン    | Japanese White Radish      |
| 発芽      | sprouting                  |
| 落花生     | peanuts                    |
| 柿       | persimmon                  |
| 柑橘類     | citrus                     |
| ビワ      | Japanese medlar            |
| 梅       | Japanese plum              |
| スモモ     | prune                      |
| コンニャクイモ | elephant foot              |
| ナシ      | pear                       |
| らっきょう   | pickled shallots           |
| 長芋      | Chinese yam                |
| カンピョウ   | dried gourd shavings       |
| 菜の花     | canola flower              |
| ブドウ     | grape / grapevine          |
| ベニバナ    | safflower                  |
| 桃       | peach / nectarine          |
| サトウキビ   | sugarcane                  |
| 薬草      | medicinal herb             |
| ハーブ     | herb                       |
| 野菜      | green / vegetable          |
| 果樹栽培    | fruit cultivation          |
| 病害      | disease damage             |
| 保温苗代    | protected nursery          |
| 実験農場    | pilot faring               |
| コメの生産調整 | rice production adjustment |
| 減反      | acreage reduction          |

| 日本語   | 英語                               |
|-------|----------------------------------|
| 輪中    | ring levee                       |
| 用水    | canal                            |
| 園芸農業  | horticulture                     |
| 茶の栽培  | tea growing                      |
| 転作    | crop rotation                    |
| 養蚕    | sericulture                      |
| 農地改革  | agricultural land reform         |
| 大地主   | large landowner                  |
| 自作農   | land-owning farmers              |
| 品種改良  | plant breeding                   |
| 穀倉地帯  | breadbasket                      |
| 農作物   | produce                          |
| 畑作    | upland farming                   |
| 酪農    | dairy farming                    |
| 畜産    | livestock raising / cow breeding |
| 稲作    | rice farming                     |
| 観光牧場  | guest ranch                      |
| 稲の栽培  | rice cultivation                 |
| 水田    | rice paddy                       |
| 早場米   | early rice paddy                 |
| 二期作   | dual cropping                    |
| 二毛作   | double cropping                  |
| 裏作    | off-season crop                  |
| 不作    | crop failure                     |
| 促成栽培  | forcing culture                  |
| 単作地帯  | single crop area                 |
| 多角的農業 | diversified farming              |
| 近郊農業  | suburban agriculture             |
| 高原野菜  | vegetables grown on highlands    |

---

◎編集協力・監修

横堀 勇 (一般社団法人 ウィルダネス メディカル アソシエイツ ジャパン代表理事)

荒田 康仁 (北海道知事認定 山岳(夏山・冬山)ガイド TREE LIFE 代表)

新野 和也 (北海道知事認定 カヌー・ラフティングガイド NPO法人どんころ野外学校)

上田 浩朗 (Sapporo Active Navigation 代表)

◎英語監修

デイビッド・ニーホフ (Kanto Adventures 代表)

◎編集・制作

株式会社 電通北海道

一般社団法人 北海道体験観光推進協議会

---

ガイドイングのための  
英語によるコミュニケーション実践ガイド  
(基礎編)

令和4年3月発行

発行 公益社団法人 北海道観光振興機構  
〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目1番1 緑苑ビル1階  
TEL 011-231-0941

※本テキストの無断転載・無断使用禁止

